

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

- ・意見は、原則として、市に提出された順に掲載しています。
- ・意見は原文のまま掲載しています。ただし、個人が識別できる情報等や、個人または法人その他の団体の権利や利益を害するおそれがあるときなどは、意見の表現の変更等を行っています。

	意見	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・都心から来られる方への移住者向けのアパートor民家を作って頂きたいです。 ・駅前に公園など誰でも通える場所を作っても良いかなと思います。 	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
2	<p>駅前限定のお話ではないのですが、都心などからの移住者に向けての市営のアパートがあれば良いなど。移住を考えている人の課題が「住む家が無い！」（ある程度安い）なので、養沢など空き家問題がある地域に1ヶ所でも、抽選などで住み始められる拠点があればハードルが下がるかと。</p> <p>1年契約とかで地元の人とかに「その人の人となり」を見てもらう期間を設けあき家を売りたい、かしたい人がいれば、その地域にその人は住み続けられる・・・その様な仕組みが、まず駅前からでもあればと・・・一言で言えば・・・移住者の見本市を作るイメージ（空き家をもっている人にとっての）</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設をイメージしています。</p> <p>施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
3	<p>公園（大きな木のある）がよい。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースをイメージしています。</p> <p>施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・アートスペース（コンサート、映画上映会、舞台等、文化発信出来る施設） <p>私の住む新百合ヶ丘は「芸術と文化の街」をスローガンに、地域の活性化を図っています。毎年、アルテリッカ芸術祭、しんゆり映画祭が開催され、とても民度が高い地域だと住んでいて感じています。近隣にも日本映画大学、昭和音楽大学、劇団民芸、読売オーケストラ・・・と文化施設も連携して、共催出来る環境も整っているので、家族でボランティアスタッフで参加されたり、関わる事で、様々な事柄に関して自分事として参加して、とてもコミュニケーション能力も高いと感じています。新百合ヶ丘駅近くに、図書館、映画センター、コンサートホールと、沢山あるので常に色々な催しが開催され、活気にあふれています。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
5	<p>基本が、そもそも古いので、首都大とかいらなと思う。</p> <p>公園とアート。生態系。50年後、100年後を見据えて。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
6	<p>下北沢のような緑、木々、小川（ビオトープ・・・）、土、ベンチ、多摩産材、野花・・・ 例）シモキタ園芸部（有志が手入れに集まれる公園）</p> <p>～五日市地域の自然魅力を凝縮したようなイベントも出来る公園～</p> <p>→野草摘み散歩、歴史探索、地形探究、食体験、農体験、清流、文化体験、ヒザがま・・・</p> <p>戸倉しろやまテラス、郷土資料館、五日市高校、個人店・・・</p> <p>キャンプ場</p> <p>才能豊かなskill提供できる場へつなぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を地域民誰もが使える土地になるよう、日本人のための青空英語教室を定期開催 <ul style="list-style-type: none"> ・観用植物を管理できなくなった個人宅の植物も引きとりに行き、仕立て直し販売をする <p>そこで収益を得、活動資金にもなる</p> <p>☆あきる野市民憲章5つをつなぐ場となれる☆</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
7	公園がよいです。 100年先を考えて、世田谷区では公園のための土地を買っている。それがとても大事です。 あきる野市民が居心地のよい空間がパブリックにあって、そこで交流ができて、コミュニティが生まれると、あきる野市の活性化につながり、生き生きしたまちをみて、移住者も増える。 まずは市民が生き生きする空間づくりが先。そうしたら自発に移住者は集まります。 環境的に言えば、グリーンインフラが重要です。グレーインフラは古い。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
8	大賛成です。若者一同、応援したいと思います。	武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。
9	武蔵五日市駅前私有地活用計画(案)の8/43ケース1がすばらしとおもいます。 本来ならば、駅前はまだ発展していて、お土産店、食事処等が休むところがあり、また来たいと思われる所が必要だと思いますが、バスの駐車場、コインパーキング等では全く魅力をかんじない、その他の施設も付くってもらい、市長の30年らしいの思いを実現させたい。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
10	武蔵五日市駅前にはあきる野市の観光の重要な拠点の1つです。五日市商店街や西東京バスとの共存をはかり、五日市駅周辺の活用整備を行ってください。遊びに来る人や地元の人がかつろげる楽しい場所にしてください。	武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
11	五日市駅前市有地の活用は、秋川流域の観光の重要な拠点と思います。一日も早く五日市駅周辺の活用整備計画を策定し、実行に移していくことがあきる野市の活性化につながると確信しています。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼应するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。
12	電車の到着時以外に人の流をほとんど見ない閑散とした五日市駅界隈。この寂しい風景を少しでも改善するためには、「武蔵五日市駅前市有地活用計画案」のケース1と2のいずれにも賛成です。 さらに上記両案に意見を加えるならば、都市計画法等が許す範囲内で高層階建物を建築し、上層階を居住スペースとして活用したら如何でしょうか。そして、屋上ガーデンと展望台を設けて更なる人流を計るのも一興かと思えます。 ただし、現行の市有地の活用計画案には致命的とも思える欠点があるのではないのでしょうか。なぜなら、駅東側にある現在の市有地を開発するのは、いかにも立地位置の方角が悪く、このまま開発しても市民・観光客等による人の流れの増加はほとんど期待できないと思われます。 そこで、私が申し上げたいのは、どうして駅西側にある西東京バス用地と本件市有地との等価交換を考えないのでしょうか(これは市側の持ち出し費用が多くなると思われるが)。 私のような一般市民にはわからない難題があるのかもしれませんが、上記西東京バス用地に計画案施設を設置するのと、本件私有地を利用するのでは、新しく生まれる人流に雲泥の差が生じることは明らかと思われます。 この私の意見は、五日市を生まれ故郷とし、五日市のことを熟知した中島市長や宮野課長なら身にしみて感じることでしょうから、本計画案が将来に禍根を残さぬ世代を超えた画期的事業になる事を切に望むものです。	武蔵五日市駅前市有地に整備する施設は、木造平屋の建物を想定しております。施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。 西東京バス社有地と市有地との土地交換につきましては、市有地活用の方策の一つとして、西東京バス株式会社様と市との間で協議・調整を重ねてまいりましたが、実現には至らず、武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)の作成に至っております。
13	J R武蔵五日市駅前の『秋川流域の地域資源を発信する観光交流拠点』計画に完全賛成いたします。 武蔵五日市駅は観光の拠点もさることながら五日市商店街や隣接する日の出町、桧原村の玄関口としても大変重要な存在です。 現在コインパーキングで利用しておりますが、これはこの土地のなポテンシャルを十分に発揮できている利用状況とは言えないと思います。 ここに新たな商業施設や公共スペースが誕生することで駅周辺の活性化が進み地域経済の発展にもつながると思っています。 また環境面においても例えば駅前公園の併設や緑地を設けることで地域の景観が向上が望めますし、活用次第では地元や圏外の方とのコミュニティ形成の場にもなると期待します。 以上の理由から私は完全賛成いたします。 地域の発展と住民の生活の改善に向け積極的な取り組みをお願い申し上げます。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
14	以前より手つかずだったものが中嶋市長により、ようやく動き出したようですね！事業計画もすばらしく、すぐにも着工していただきたいです！	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼应するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
15	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）について。 中嶋市長の政策にも含まれていて、とても興味深い計画だと思います。現状では駅おりてバス停留所や駐車場だけで観光客はすぐバスに乗り檜原方面へ向かっているような気がします。是非開発して頂き観光客が買物したり地域の人々の交流の場になり、五日市駅前を起点にあきる野市の観光が盛り上がり地域の魅力を最大限に発揮できる場所になる事を望みます！有効活用を応援しております！</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
16	<p>①あきる野市民、とりわけ五日市地域の住民にとって今後の街の姿を決める重要な事案です。住民への説明会を早急に開くよう強く求めます ②五日市の歴史や文化、観光をどのように考えて、計画・立案・施工していくのか未来に関わる重大な内容です。幅広い市民の要望を聞いて計画案を示し、広く希望集約を行うべきです。性急な実施は市民から支持も得られないし、商店街の活性化にもつながりません。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。 パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>
17	<p>この計画に大賛成です、道の駅みたいになるとさらに五日市の活性化につながると思います、更衣室とロッカーは完備するとなっておりますが出来ればシャワー設備も完備して欲しいです、難しいのでしょうか？なぜ難しいのかの説明をいただきたいです。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地に整備を予定している施設は、国土交通省が定める「道の駅」とは異なります。 市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
18	<p>武蔵五日市駅前のタイムパーキング再開発について。 入浴施設付き道の駅が 駅前に入浴施設があると、登山愛好家や自転車愛好家が助かります。 また、地元野菜の直売所や飲食店、キッチンカー店舗、アウトドア用品店、タカオネのような宿泊施設、を合わせた複合施設。 地元農家さんの経済的効果や、雇用創出、秋川地域の情報発信の現場サイトにもなると思います。 無農薬栽培やリジェネラティブオーガニック栽培によるオーガニック食事の提供により、秋川地域のSGDsの効果はより高まると思います。 秋川地域から東京のオーガニック発信拠点により、意識高い方々の移住へつながる効果はあると思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの情報とともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報も発信する場所や、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
19	<p>ページを特定しての意見ではありませんが、五日市で登山やトレイルランニングを楽しんでいる仲間から、駅近くにシャワールームや更衣室、手や足を洗える場所（高尾や奥多摩にはあります）があれば良いなとよく聞きます。つるつる温泉や瀬音の湯はありますが、時間（電車の時間も）の都合上・それに駅から離れているから行けない、でもさっぱりしたり着替えて帰りたいという仲間が多いです。 そういう仲間は、今のところ駐車場のトイレで着替えをしています（たまに近隣の飲食店内のトイレで着替える人もいます）。登山道やトレイルが雨でグチャグチャになっている時には、電車に乗る前に靴についた泥を流したいとも。駅前に有料シャワーはありますがいくつもあるわけではないので、やはりもう少し気軽に入れる場所というのがあったら、もっと五日市駅前を軸としての、いろいろ可能性が広がってくると思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
20	<p>駅周辺に時間が活用できる場所がほしいです。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
21	<p>現状バス停と駐車場のみで寂しいです。例えば、檜原村帰りの観光客が立ち寄る事が出来る施設があると良いと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
22	<p>在住者と移住者がコミュニケーション取れるような施設がほしいです。バスの駐車場とパーキングしかないイメージが大きいです。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
23	<p>計画の速やかな取りまとめと実行を期待しています。 例えば、「道の駅」などは市有地活用調査検討結果報告書の基本方針である次の項目に沿った内容に当たると思います。 ① 観光の窓口としての情報発信の場づくり ② 観光客と地元住民が集い、憩うことができる場づくり ④ 五日市地区の活性化に資する場づくり</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p> <p>また、市有地に整備を予定している施設は、国土交通省が定める「道の駅」とは異なります。</p> <p>市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
24	<p>1高齢者にも利用しやすい施設を希望します。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
25	<p>武蔵五日市駅前活用計画に 賛成です 30年もの間 放置 棚上げ 信じられません 駅前に駐車場しか無い駅は他の駅を比べても見たことないし 有効活用されれば 秋川溪谷観光客増 雇用 税収にも繋がること間違え無しです。 五日市駅前活用計画進むのを期待してます。</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
26	<p>武蔵五日市駅は、あきる野市の重要な観光の玄関口として、来訪者の情報案内をはじめ、様々なサービスを提供するための施設の整備が急務と考える。また、フリーマーケットや市民が気軽に憩える場所として、イベント広場ともいうべき施設の整備も必要と思います。 いずれにしても、これまで十分な検討を進めてきており、速やかに五日市駅前市有地の活用計画を進めて頂きたい。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p> <p>市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
27	<p>武蔵五日市駅前市有地の取得から、30年近く経っており、地域の活性化からも計画策定実施に努めていただきたい</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
28	<p>今回の駅前市有地の開発については、公的な協議会ではなく、中嶋市長が以前から関わりのあった方を中心に話し合いがなされ提起されたものと言われています。</p> <p>「皆様の意見を頂きながら、検討し着手していく」という現市長の掲げた方向からは、程遠いやり方で進めようとしていることにまず問題があります。</p> <p>この市有地はあきる野市の合併で残された旧五日市町の貴重な財産と言われています。</p> <p>市民の声に寄り添い市有地の活用を求めらるるのであれば、合意形成を図る上で、市民からの多くの意見を集められるアンケート調査を採ることや地域で多くの市民の声を聞く場として、説明会の開催と意見交換会があつてしかるべきで、それらを踏まえた上で、駅前の土地の有効活用が成り立つものです。</p> <p>日程が先走り、結論先にありきの今のやり方は、極めて問題点を残したやり方です。</p> <p>パブコメで「意見を聞いた」ということで何ら意見が反映されないようなままに進むなら極めて問題です。武蔵五日市の持つ五日市憲法などの歴史的な重み、また息子が高校時代に都心から武蔵五日市に地学実習で化石めぐりをしたような遺跡の地でもあることを考えれば、極めて問題のある計画案と言えます。</p> <p>また、五日市の町並みは、店じまいが進んでしまっています。その背景や改善をどう図っていくのかなども含め、年齢層も考えた多様な意見が出される話し合いの場が必要だと思ひます。</p> <p>さらに、観光にこの地域を訪れて下さる方々の希望などアンケートを採り参考にした論議に基づく計画も大事と感じています。取りあえず、ストップして充実した話し合いがなされた上で、計画案は出されるべきだと思ひます。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定していません。</p> <p>五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しております。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
29	<p>武蔵五日市駅前私有地開発計画について意見を申し上げます。</p> <p>駅前私有地開発計画について賛成と申し上げます。</p> <p>理由としては観光として武蔵五日市に電車で来たとして、駅を降りたらバスに乗って山もしくは檜原方面に行くか、歩いて河川公園に向かうかの二択しかないからです。</p> <p>五日市に来たよ！駅がキレイで木の香りもいい匂い！改札出ました！</p> <p>何もありません！お土産屋や何か地元の特産品があるわけでもなく、あるのはバス会社と駐車場。</p> <p>何処が五日市の魅力あるのか私には分かりませんが、結果山や川に人は流れてその場で楽しんで終わりです。</p> <p>五日市という町の中に山や川がありますが、別にそれだけなら五日市関係なくどこでもあります。</p> <p>五日市に観光しに来てるわけではなく、その特定の場所に用があるから来ているだけで何も五日市という魅力は出せてないと思ひます。</p> <p>観光客が歩いて駅前から町内、上町付近まで足を伸ばすわけではなくほとんどの人がバスに乗ってよそに行くか、川で遊ぶかで町内にはほとんど人が流れていないのが現実だと思ひます。</p> <p>駅を降り魅力的な商業施設でもあれば、また観光客の方のイメージも変わり、街中に行ってみよう、っと思ひすることもあると思ひます。</p> <p>私自身知らない土地におり、駅前が何も無ければ何も魅力感じませんし歩いてみようとも思ひません。</p> <p>ですので、駅前開発に関しては是非とも勧めてもらいたいと思ひます。</p> <p>そこから街中も活気を取り戻すきっかけにもなると思ひます。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの情報とともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報も発信する場所にしていきます。</p>
30	<p>駅前に複合施設みたいな物が有れば観光客等が増えると思ひます。</p> <p>作って頂ければ自分達も行きたいと思ひます。</p> <p>更にホテルとかも有れば、瀬音の湯に来た人も五日市に立ち寄って貰えて観光にも回れて街も活性化する事間違いナシ！</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの情報とともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報も発信する場所や、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
31	<p>観光客用の複合施設、五日市に来ていただいても、夕食の食べる場所が無く、五日市から出て行ってしまう現状です。</p> <p>シャワールーム、ロッカールーム併設の食事処があればいいと思ひます。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
32	<p>登山、トレラン、サイクリストが多くシャワールーム、ロッカー、カフェ、地域特産物販売所、広場などを併設した多目的な場所がほしい。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
33	武蔵五日市駅の周辺をもっと魅力的な場所にして欲しい	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の具体的な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。
34	五日市の特性をアピールしたい。 特産品を売る店 ①寿美屋のめん類 ②餅屋のドラ焼き・和菓子 ③松村肉店の秋川牛メンチカツ ④喜正の梅酒・酒類 ⑤とりたての野菜・花類 ⑥リサイクル（衣類を主に） ⑦気軽に寄れる喫茶店 ※五日市に限ると問題が起こりそうです。あきるの全体の視界から、また他から来られる人の憩いのひとときの場にとか	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の具体的な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
35	観光ガイドの会に少しの間お世話になり五日市駅で案内をした時に感じたことです。観当シーズンには朝の8時代大勢のお客様が下車をし、檜原方面行きに乗ります。通常は一台のバスですがシーズン中は一度に3台ものバスが発車して行き、その人達は五日市の街並にお金を落すことなく帰りも当りに電車で乗り帰路につきます。 駅前たとえばこんな建物があつたならと常々思っていました。 観光客が帰り際にちょっと立ち寄れる様な所 きれいなトイレがある。 おみやげ（地場産の物が買える） 休憩が出来る（喫茶、軽食、食事が出来る） 地元の人が働ける 二階にはあきる野市、秋川渓谷ならではの展示場兼お休みどころ 三階には広い空間 緊急時には避難所にも使える 集会、会議室、又イベントにも使える 現在道路がこみ合う時はバスの道路への出入りも大変のようです。 バスの営業所が駐車場になっている方へ移ればその方がバス会社の人も楽になるのではないのでしょうか。	武蔵五日市駅前市有地に整備する施設は、木造平屋の建物を想定しております。施設の具体的な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の具体的な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。 西東京バス社有地と市有地との土地交換につきましては、市有地活用の方策の一つとして、西東京バス株式会社様と市との間で協議・調整を重ねてまいりましたが、実現には至らず、本計画（案）の作成に至っております。
36	可及的速やかに計画を進めて頂きたい。 ①一番、安易に思い付くものは、【市営の駐車場】・・・何とでも、理由は付けることができます。 *観光客にも、お買い物客にも、通勤通学にも利用できる。 *建物ではないので、一番コストは掛からない。 *将来に向けてのリスクも低い。 ②「武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書」の「観光振興プラザ案」には、賛成の立場ですが、観光を支える基本的な欲求項目を検討して、どの項目に軸足を置いたら、どのような効果があるのか、検討してみることも必要ではないでしょうか。 【観る】 【イベント・祭り】 【体験する】 【遊ぶ】 【(温泉)に泊まる】 【食べる・買う】 「強さ」の強調も外部にたいしては、必要ではあります、己れの立ち位置を認識するには、まずは「弱さ」を徹底的に検証することが必要でしょう。 「秋川流域」の枕詞を使う以上、檜原村・日の出町も入れた活動拠点施設としての役割を打ち出す必要があります。 多目的スペース(子供から大人まで利用できる学習室等々)、また、ICTを利用したコワーキングスペースも、時代の要求に沿う形で、あつた方がよろしいでしょう。 五日市線も含めた「檜原・日の出・五日市・公共交通ネットワーク」の大切さ・重要さも観光振興活動の中に入れて欲しいものです。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。 また、市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の具体的な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 さらに、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。 市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。 日の出町及び檜原村には、市有地活用に関する情報を逐次提供するとともに、両町村と、施設の管理運営等について調整していきます。

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
37	<p>① この計画書には市民の意見が十分に反映されていません。秋川時代キララホール設置の時は市民の公募委員を募集し、設計に反映させました。2つの団体かの意見を集約したとのことですが、1つの団体である「駅前から五日市の魅力を発信する会」が要望している内容はまったく計画には反映されていませんし、時期的にみても単にアリバイ作りに利用した感はいなめません。</p> <p>② 予算規模がまったく開示されていません、9月に補正予算で提示されるとのことですが、市の全体の予算規模を考える必要があります。</p> <p>③ パブリックコメントの前に住民説明会を開く必要があったのではないかと思います、</p> <p>以上3点はこの計画のパブリックコメントと直接関係がないことがらかもしれませんが、大事なことだと思いますので、まず提起させていただきます。</p> <p>この計画書案に対する意見</p> <p>あきる野市も周辺自治体の人口は減少傾向です。観光客を当てにする計画のようですが、それなら道の駅」的な考えで進めてみることも考えられます。あきる野の強みである周辺の農業振興という方向性は必要でしょう。今物価高騰、資源の枯渇かが叫ばれているとき、あきる野は農地がまた十分あります。有機の農産物を作り学校給食などに活用していくという新しい発想が求められます。</p> <p>合わせて五日市の宝である「五日市憲法草案」や自然史、化石など展示するブースを造ればいいと思います。</p> <p>現五日市庁舎の活用をセットで考える必要があると思います。現在庁舎は窓口業務と貸会議室などだけで、市民の利用がそれほど多くはないと思われませんが、駅前に庁舎機能をもつ建物ができれば（証明書の交付、住民の交流など）ますます五日市庁舎は利用しないで建物となってしまいます。併せても議論が必要です。</p> <p>合併によって人口が増え五日市町が繁栄するとの試算でした。合併特例債で様々な建物ができました。庁舎、公民館 図書館等主として秋川地域に建設され、五日市は「瀬音の湯」が誘致され残りました。やっと返済が終わりましたが、大規模改修が何年か後に控えています。建物は建てるに維持費。改修費・建て替えなど後年に様々な付が残ります。したがって、本当に市民が望む建物か、後年に大きなツケが残らないか、今一度十分な議論を求めます。</p>	<p>①及び③につきまして、市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p> <p>本計画（案）の取りまとめに当たりましては、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考にしております。</p> <p>②につきまして、市有地活用に係る予算につきましては、議会における議決を踏まえ、適切に執行していきます。</p> <p>市有地に整備を予定している施設は、国土交通省が定める「道の駅」とは異なります。</p> <p>市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
38	<p>私は旧五日市町に住んで45年たちます。五日市は山、川があり豊かな自然が大好きです。子供達は夏には川遊び、又近くの川原では化石を探したりと自然に親しんできました。今回広報を見て「駅前市有地開発についての意見を」との記事が掲載されました。この五日市駅前（町）の財産であって、私達の意見を聞かずに勝手に何かを作られてしまったら大変困ります。まだ多くの人達に知らされていないのと①どういった建物になるのか？市民に知らせて欲しい。②市民説明会をやる予定はありますか？③いつ頃着工して完成はいつ頃ですか？</p> <p>以上3点が明確でないのではっきりとさせて欲しいです。</p>	<p>①につきまして、武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>また、市有地に整備する施設は、木造平屋の建物を想定しております。施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>さらに、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p> <p>②につきまして、市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p> <p>③につきまして、現時点では、令和6年度に着工し、令和7年度に施設の運用を開始したいと考えております。</p>
39	<p>武蔵五日市の駅前開発について、とても賛成です。子供いても日陰で休めるようなスペースがあると、ファミリーでも駅前でゆっくり時間が過ごせて、より素敵だと思います。</p> <p>この取り組みに期待をしつつ応援しています。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースをイメージしています。</p> <p>施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
40	<p>武蔵五日市の駅前開発について、とても賛成です。</p> <p>これまで東京都との約束もあり、そもそも止まっていた事業。</p> <p>また、あきる野のみならず、日の出、檜原にとっても大変有意義な事業。</p> <p>やるべき、必須の取り組みだと思います。</p> <p>応援しております。</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
41	<p>突然、7月に計画が出され、9月に予算案、そして、来年には工事着手と聞いて驚いています。このやり方だと、「パブコメ募集」も単に「聞き置く」だけの形式的なものではないかという不信感が拭えません。特に新市長は前市長の独善的なやり方に異を唱えて、合意形成に努めると言っていて市長になったのですから、もっといいいな市政運営をするべきです。計画を延期して下さい。一部の市民しか参加していない「五日市まちづくり協議会」ではなく、公募によって幅広く市民の意見を聞くための仕組み作りから始めて下さい。市長は市民の税金を使って行う事業であることをもっと自覚するべきです。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。また、本計画（案）は、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、市が主体的に取りまとめたものであります。</p>
42	<p>～ p.33 市民団体からの意見 に関連して。～</p> <p>おつかれさまです。以前、あきる野市野辺に住んでいて、生活の事情から現在立川市に住んでいる者です。あきる野市には今でも強い縁があり、将来的には戻りたいと考えているので、市の開発についても真剣にウォッチしています。</p> <p>本紙、別紙資料1～5、ざっと目を通して、まあこんなものかな、これまでも武蔵五日市駅はキレイに使いやすくなってきたもんなと思って読んでいました。しかし、どうも市民の声が反映された形跡がなく、上記の参考情報しか載っていないので気になって色々調べました。そうしたら、中嶋市長の関わりのある団体を中心とした一部の人達による計画という性格が強いものだとわかりました。これは、計画のための計画であり、お金を動かせば勝ち、という政策にしか見えません。副市長も元東京都の部長のようで、ゴリゴリやる人間で固めて、無理してでも一気にやるという姿勢が見えてきます。立場の弱い人への配慮とか、駅前から五日市の魅力を発信する会のアンケート結果にもあるような有名な「五日市憲法」といった文化的特徴を継承する意思があまり感じられない。見方を変えると、大手広告代理店のプレゼン資料のコピーのような計画書に感じる。血が通っていないが、お金を生むコネは見えるという印象。これはちょっと立ち止まって、考え直したほうがいいと思います。稼げる自治体、若い人が集まる町になりたいのはわかるし、いいと思うけど、付いていけない人を切り捨てる町になるんじゃないか、という気がしてならない。市議会でもどれだけ議論してるんですかね。開発ありきでどんどん進むなら、あきる野市の魅力は半減してしまいます。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、本計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
43	<p>公聴会など開催し広く市民へ説明してほしい。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>
44	<p>10年以上前に武蔵五日市駅前市有地活用話がでた時、地元館谷地区の人達は大喜びでした。その話もいつのまにか消えてしまいました。五日市街の商店も店をやめる人が多くなり、現在は数軒となっています。最近では五日市駅も山や川へ行く人達も増しているように思います。観光の玄関口とし、駅前に商業施設「道の駅」あるいは、道の駅のような店舗で五日市の物産品、特産品等販売すれば観光客も増し、買物客が気軽にふれあえる拠点となる。又駅のまわりには食堂も少なく、ソバ、うどん等の店を増やせば何かヒットし、五日市を全国的に知られるようになるのでは期待しています。取りとめのない意見で申し訳ありません。早く開発に力を入れ、五日市の活性化を希みます。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地に整備を予定している施設は、国土交通省が定める「道の駅」とは異なります。市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
45	<p>本計画は、平成23年3月に提出された武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書、及び平成26年3月に提出された武蔵五日市駅前市有地活用計画の提言に基づき作成されたものである。また、五日市まちづくり協議会駅前ワーキンググループ協議報告書の具体的な提案等が考慮されている。五日市地域の特性を生かし、将来を見据えた計画となっている。武蔵五日市駅前市有地活用計画は、あきる野市都市計画マスタープラン等の上位計画にも位置づけられており、市としての重要施策と考えるが、報告書などが提出されてから、既に10年近くが経過している。行政は、この計画が不作為とならぬよう実施計画を早期に作成し、実現に向けて取り組むべきと考える。</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
46	<p>現在は民間事業者による駐車場として運用されていますが、購入時における基本方針を原点とし時代の推移に伴う諸要件を加味して再びこの機会に意見集約しながら当地域の将来に相応しい結論を導かねばならないと思います。それは同時に過疎化へのブレーキになり人が集まる、人に魅力あるあきる野市創りに貢献すると確信いたします。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
47	<ul style="list-style-type: none"> ・役所の出先機関 ・A T Mの設置 ・道の駅のような野菜、みやげ物、特産品等の販売所 <p>※こじやれでかわいいをコンセプト等を若者・市民に聞きながら進めてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元民も気軽に集える場所 ・駅直接スーパー ・駅前図書館 <p>※五日市の良さ特長をきちんと示すことがこれからの観光には必要だと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
48	<p>五日市駅前の改善について</p> <p>現在、西東京バスの使用している事務所及びバスの駐車場を日の出寄りの現在の一般の駐車場に移動し、その後に駐車場及商業施設を作った方がよいと思います。</p> <p>一般の駐車場は前提として現在の駐車場と同程度の規模を確保が必用と感じます。</p> <p>理由について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 五日市の玄関口である駅前が観光客に使われていない 2 現在の観光案内所がどこにあるか目立たない。何人かの観光客に聞かれたことがあります。 3 バスから降りた下山した観光客が土産店がないので買えないと声がありました。 4 駅前の道路の交差点信号の所が事故が多く感じられる。 <p>土地問題等に素人の私です。少しの参考になれば幸いです。</p>	<p>西東京バス社有地と武蔵五日市駅前市有地との土地交換につきましては、市有地活用の方策の一つとして、西東京バス株式会社様と市との間で協議・調整を重ねてまいりましたが、実現には至らず、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）の作成に至っております。</p> <p>市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
49	<p>上記（武蔵五日市駅前市有地活用計画）の案に賛成いたします。</p> <p>ケース②のふれあいターミナル等に賛成いたします。五日市町商店がいかに無くなっているかという事が非常に残念に思います。</p> <p>関係者方々の努力を願います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
50	<p>武蔵五日市駅前市有地の活用について、この機に是非とも推し進めていただきたいと思います。</p> <p>今回の提示された「活用計画（案）」を拝見したところ、『農林業』分野の参入計画が少ないように思えます。</p> <p>五日市は「江戸東京野菜」に登録されている『のらぼう菜』の産地です。</p> <p>昨年の市産業祭農産物品評会を見ても「トマト」「八つ頭」「タマゴ」「ナス」などの五日市地区生産者の入賞を多数見受けました。</p> <p>また、市の代表野菜「とうもろこし」をはじめ、最近NHKで放送された「山羊チーズ」など多様な農畜産物を同地区内で生産しています。</p> <p>これら地元農畜産物の「情報発信の場」と地域住民や観光客への「販売の場」をプランに盛り込んでいただきたいと思います。</p> <p>P23、P25、○観光や生活の交流拠点づくりに「農畜産物販売店の整備」を加えていただきたい。</p> <p>P41、情報発信機能に「地元農畜産物」の情報発信を加えていただきたい。</p> <p>P41、飲食機能に「地元農畜産物の積極的な利用」を出店者に求めていただきたい。</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼应するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p> <p>市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力や、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの情報とともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報も発信する場所や、秋川流域で地域活性化の取組等を行っている様々な団体、商業者・観光事業者などと連携したイベント等を通じて、秋川流域の活性化につなげる場所にしていきます。</p>
51	<ol style="list-style-type: none"> 1 駅前市有地は、市民の大切な財産です。ぜひ、計画（案）説明会を開いて下さい。 2 あきる野市の誇りである「（五日市）憲法草案」や「五日市の地学、自然史」を計画の中に取り入れて下さいますようお願い致します。 	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p> <p>五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力や、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
52	<p>武蔵五日市の駅前開発について、賛成です。 観光地の玄関口として賑わいや憩いのスペースなどが駅前に少ないので、そういう施設ができると良いと思います。 お土産を買えるところなどがあると、買って帰りたい人はたくさんいるのでいいと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。 市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
53	<p>五日市駅前の市有地は、市民共有の大切な財産です。 その活用については、広く市民からの声に耳を傾け、合意形成の上で、実施すべきだと考えます。しかし、現状では、中嶋市長個人の強い思いが先行し、中嶋氏に近い人達によってのみ進行しているとしか思いません。 時間をかけてでも、様々な意見を吸み上げ、10年50年先に市民から良い評価を受けられる誇れる物にして欲しいと思います。 私からの提案 1 あきる野市民が誇れる「五日市憲法草案」に関する歴史や資料を集めた学習室の設定（子どもから市民全般及び観光客も学び合えるもの） 2 あきる野の子ども達はもとより、遠足等で市外から来た子ども達も気軽に立ち寄り、学習したり、遊んだり出来る子どもの広場の設定 3 五日市は海だったことを知る地質学や昔は秋川を利用して江戸へ木材や炭をイカダで運搬した自然との関わった生活史などを学び知ることの出来る展示室や学習室の設定 4 自然豊かなあきる野市を前面に出した観光面から発信していく「道の駅」的な役割を持った物産店の設定 どうぞご検討の上よろしくお願い致します。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。 また、本計画（案）は、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、市が主体的に取りまとめたものであります。 ご提案いただいた1～4につきましては、五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。 市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。 また、市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 さらに、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
54	<p>標記土地は、駐車場として運用されていますが、利用率が低下し50%未満の状況であり、早期有効活用が望まれます。 当初の基本方針に沿って計画を進めるべきですが、土地取得から相当時間が経過していることから、社会情勢や地域の変化を勘案して計画を見直し地域の発展に寄与する施設を建設して頂きたい。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしており、駐車場機能では、地域住民及び交流人口用の100台程度が収容できる駐車場機能を残す予定です。 また、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。</p>
55	<p>武蔵五日市の駅前開発について、家が近いのでとても楽しみです</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
56	<p>武蔵五日市の駅前開発について、とても賛成です。どんなアクティビティができるのか楽しみです</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
57	<p>武蔵五日市駅前の駅前開発についてとても賛成です！ 休憩所もあると子ども達も嬉しいですし、助かります！ 何より駅前から新たな仕掛けが起きるととてもワクワクします！</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
58	武蔵五日市の駅前開発について、とても賛成です。 あきる野のお土産や特産物が買えるような販売所があると嬉しいです。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースをイメージしています。 施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
59	是非とも五日市活性化の為に駅前開発を有意義な場所にして頂きたいと思っております。 五日市駅の乗降や、この土地に来る人口が増えれば、このエリアの産業が確実に潤います。 また、私自身あきる野に移住も考えており、自分の子供にとっても良き影響のある場所となって頂ければ助かります。 何卒よろしくお願ひ致します。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
60	武蔵五日市の駅前開発について、とても賛成です。 新しい複合施設が出来るのは、楽しみです！	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
61	駅前が駐車場であれだけのスペースを要しているのは非常に勿体なく、新たに開発されると聞いて、すごくよいプロジェクトだと思いました。 高尾、奥多摩は都心他の人はよく知っていますが、この秋川流域はかなり劣ると思います。 このエリアをもっと都心の方々に認知していただくため、絶対に必要だと考えましたので、メールさせていただきました。 是非とも素晴らしい場所にして頂きたく、よろしくお願ひします。	武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。
62	武蔵五日市駅前開発について、賛成です。 休憩スペースなどの開発が進むことで、様々な人が利用しやすくなりますし、駅前を拠点として、地域の活性化などにも繋がると 思いました。 駅前の開発が進むことを期待しつつ、応援いたします。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
63	武蔵五日市の駅前開発について大賛成です。 武蔵五日市は観光客が多くいらっしゃる場所ですので、開発されることで来られた方々が帰る際、満足度がさらに上がり、また来たい！と思える空間になっていくのではないかと思います。 私個人としてはお土産関係やカフェなどがさらに増えてくれると嬉しいなあと思います。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースをイメージしています。 施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの情報とともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報も発信する場所や、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
64	賛成です！ 駅前におしゃれな建物や休憩スペースなどができると観光も盛り上がるので楽しみにしています。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
65	武蔵五日市駅前開発について、とても賛成です。孫とゆっくり休める出来る場所ができると家族連れも来やすいのかなと思いますので楽しみにしております。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をイメージしています。施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
66	武蔵五日市駅前開発に賛成いたします。地域の方々が、より五日市を好きになり、住みやすさの実現に向けて取り組まれてください。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
67	武蔵五日市の駅前開発について大賛成です。以前、武蔵五日市でバーベキューをした際、キャンプ場だけではなく駅前のカフェやお洒落なお店が多く感動を覚えました。地域発展に心から応援しております。	武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。
68	計画には賛成だが、以下のことは配慮してほしい。 1 駐車場は一定程度残すこと 2 イベントが出来る一定のスペースを残すこと 3 あきる野市名産品のコーナーを設置すること	1～3につきまして、武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。駐車場機能では、地域住民及び交流人口用の100台程度が収容できる駐車場機能を残す予定です。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースをイメージしています。施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
69	(33ページ) 駅前市有地、整備に関する具体的提案の中の自然体験などの地域観光がフックとなる移住促進拠点の設置について 託児をサポートできる有料施設を設置する事は移住を検討している方のみならず地域内に居住している方にも大人だけの滞在時間を増やす事である野市・日の出町・檜原村の魅力を発見・再発見出来る良い機会になると感じた。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースをイメージしています。施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
70	道の駅の建設を希望します。あきる野市の経済活動を活性化するためには、地元の農産物の販売や、観光資源を活用する事です。インバウンド需要も活性化してきており、最近の外国人は良く知られた観光地より、自然に恵まれた地が好きようです。参考として”道の駅果樹公園あしがくぼ”（埼玉県秩父郡横瀬町大字芦ヶ久保1915-6）をお勧めします。ここは敷地がそれほど大きくないですが、いつ行っても顧客が多く、地元の農産物や、食堂などで賑わっています。近くには川も有り、五日市とよく似ていると思います。あきる野市がもっと潤う政策を望んでいます。	武蔵五日市駅前市有地に整備を予定している施設は、国土交通省が定める「道の駅」とは異なります。市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。施設の詳しい内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。
71	東京都から払い下げられたものを約20年も動かなかった事に果敢に取り掛かれる現在の行政諸兄におかれましては、反対等が起きやすい事案に関わらず、過去の市長や議会の責任を負う姿勢に信頼が沸きました。行動するあきる野市政に感謝します。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。
72	計画に賛成です。五日市駅前を観光の拠点になればと思います。	武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
73	<p>計画案のできる過程について 五日市駅前市有地の活用は、五日市にとっては、合併前からの要望である。また、五日市町は、駅前市有地に複合文化施設をつくる計画を持っていたが、合併後、あきる野市の財政問題などのために、実現されないまま、今日に至っている。この市有地はどのような施設ができるのか、活性化のために有効に活用してほしい、など、多くの市民が期待、要望を持っている。今年二月の中島市長の施政方針で、市有地活用の検討を始めることを表明した。その時に、表明の中には、「地域住民の意見をいただきながら」と明言している。</p> <p>今回の「活用計画案」策定に関して、検討委員会なども設置されておらず、検討のための関係部署を集めた会議を開催したということも聞いていない。ましてや、市民参加の会議は開かれておらず、市民の要望を聴く機会も設けていない。計画案には、町づくり協議会の要望書、五日市の魅力を発信する会の要望書が掲載されている。二つの会の要望をどこで、誰が検討したのか全く不明である。そして結論的には、町づくり協議会の意要望は受け入れられ、発信する会の要望は、全く無視されている。この計画案作成に至る経過が全くわからず、極めて非民主的であると言わざるを得ない。</p> <p>これだけの大きな事業は、市民委員を公募した「検討委員会」を設置し、市民に公開の下で検討されるべきである。この計画案を撤回し、改めて市民参加の検討委員会を設置し「検討」から始めることが必要を考える。</p> <p>計画案に対する意見 市有地活用の基本理念「活力と創造力を満たす学習の場」＝みんなのWell-beingの実現のために～ となっている。つまり、いろいろ前置きあるだろうけど、結論的には、「学習の場」である。学習の場となると、その学習の内容が問題になる。ところがこの計画案には、学習の内容については全く触れていない。(2)基本方針など、①基本方針、イ、様々な人々が集い、学び、憩うことができる場所 この項には、これを具体的に説明しているのかと思いきや、同じ文のくり返しで、全く内容は見えてこない。</p> <p>さらに、2 導入機能 (1) 機能構成の考え方 を見ると、学習という言葉さえ出てこなくなってしまう。この機能を見ると、情報発信機能 憩い滞留機能 集会交流機能とあり、学習を保障する機能は、どこにもない。たぶん、「全体を通して学習機能を持つのだ」いうだろうことは容易に想像できるが、何をこそ学んでほしいのか、ということはさっぱりわからない。言葉だけ、「学習」をいれてあるが学習に対する考えを持っているとは読み取ることができない。地域住民にも観光客にも学んでほしい第一は、五日市憲法草案などを中心に五日市の歴史、ではないか。「学習」を言うなら、まず、五日市憲法草案をどうアピールするかを考えるべきである。先日、教育委員会で、来年度小学校で使用する教科書の採択が行われたが、社会科の論議の中では、五日市憲法草案がどのように記述されているかが問題になった。子どもたちにどう伝えるか、真剣に議論をしていた。このくらい、この案をつくった方々も、地域住民だけでなく観光客にも五日市憲法草案を伝えることを真剣に考えるべきである。この駅前市有地の機能は、もう一度考え直す必要がある。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1(武蔵五日市駅前市有地活用調査報告書)と資料2(武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言)を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。</p> <p>また、市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>本計画(案)の取りまとめに当たりましては、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考にしております。</p> <p>五日市憲法草案や五日市の地質・地形(ステゴドン・ミエシス、パレオパラドキシア)につきましても、本計画(案)の基本である資料1(武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書)に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
74	<p>あきる野市の財政難からの回復のためのカンフル剤になると思ってるので、ぜひ早く進めてほしいと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
75	<p>上記計画に賛成です。土地を有効活用して頂き、あきる野市の経済をより良いものにして頂きたいです。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
76	<p>五日市が活性化していく為の窓口なので観光客だけでなく市民も集い、消費する場を作ってください。担し、代替の駐車場は、市民にとって必要だと思いますので宜しくお願い致します。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。また、駐車場機能では、地域住民及び交流人口用の100台程度が収容できる駐車場機能を残す予定です。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所や、秋川流域で地域活性化の取組等を行っている様々な団体、事業者・観光事業者などと連携したイベント等を通じて、秋川流域の活性化につなげる場所にしていきます。</p>
77	<p>賛成します。よく武蔵五日市駅には行きますが駅前が駐車場なのは勿体ないと思っていました！小さな子供がいるので子供のためにも良い環境になることを期待しております。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
78	あきる野市公報に五日市駅市有地活用について、案内がありました、良くわかりません。市民の意見をもっと充分聞いてから決めるべきです。説明会をぜひ開いて下さい。	武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。
79	五日市駅市有地活用について、市民の意見をもっと充分聞いてから、決めるべきものだと思います。説明会をぜひ開いて下さい。	市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。
80	○7/15の広報で上記の記事が2面の小さなスペースにのっていたが、市民にとって財産ともいえる市有地の活用は重要な取り組みであるので一面に大きく取りあげて市民に周知することが必要である。 ○広報配布の15日から3週間で意見を募集しているがあまりに急で市民はこの案を知らされていないのでよく分からない状況にある。市民に対する丁寧な対応とはなっていない。8/1の広報にも重ねての記事は無い事も同様である。 ○とにかく今回我々市民は市側のあまりに拙速で一方的な意見募集に問題を感じる。市ではゴール迄のスケジュールをたてており、そこに市民不在の問題がみられるのだ。市民に内緒で独断的に事を進めるのは許されない。“案”を見に行けない高齢者や障害をもつ人々もおりこの暑い中出かけられない人々もいる。 至急多くの人々市民に対しての“説明会”を開いて市民の声を取り上げて下さるよう要望します。	市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。 市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。
81	開発計画については、市民の意見を反映させるべき 現時点では良く分からない 日常の業務は、市議会に委任されているとはいえ、特別な業務については、本人の（市民の）承認が必要と思われる。 よって市民が納得する形で進めるべき。 拙速な結論はやめてもらいたい。 説明会を何回か開くべき。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。 市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。
82	駅前構想についてよく知らされていないので、説明会を設けてほしい。現段階で納得のいく状況とは言えないので、市民を対象とした説明の機会を求めます。よろしく願いいたします。	市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。
83	この計画については全く詳しくわかりません。事がせい急に進められている事に納得できません。市民を集めて説明会を必ず開いて下さい。	市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
84	<p>1 道の駅を設置要請 2 上記が施工不可の時上記に類似した建築物を秋川流域の市町村が協力で行う、地本商店、農山物、生産者（河湖を含む）の協力で行う</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地に整備を予定している施設は、国土交通省が定める「道の駅」とは異なります。市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
85	<p>基本的に全てに賛成です。前提として駅前を東京都の約束の元進まなければいけないのでようやく動き出すと市民として安心です。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
86	<p>41ページ ・デジタルな時代なので、特に子供たちに五日市の魅力（デジタルではない大自然の世界）を感じてもらいたいと思います。自然の中で学べる体験型イベントは郊外でないとなかなか体験できないので定期的に開催していただきたいと思います。 ・いろいろな方が集まるスペースで、ゆっくりと滞在したり話を聞いたりするためにはシャワー設備、ベンチなど休憩できる場所が多い方が良いと思います。多摩産材のベンチやシンボルツリーなどがあると癒されるのではないのでしょうか。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
87	<p>41ページにて、地域活性化につながる良い物を作って下さい。物(地域に良い所)があってもそれを発信する場所、起点がないと交流が難しいです。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
88	<p>P22の「上位計画の整理」に関しまして、地域性とマッチした考えであり概ね賛同できる内容でした。P36-P37の「今後の課題への対応」に関しましても考え方の方向性は良いかと思いました。P38の地域を代表する軸となるテーマを「学習」とするのは、第一に言葉の分かり易さ、そして国が推進する「生きる力や生涯学習」といった流れともマッチしており、またあきる野市が有する国立公園をはじめとする豊かな自然資源やジオなどとも関連性が高く、且つ全国他自治体での目立った事例が少ないテーマであることからとても有意義だと思いました。P41のに関して、機能としての大カテゴリ項目は良いかと思いますが、ここを目的地として外からの集客に繋がる強いコンテンツも必要だと思いました。例えば、「道の駅」の様な万人に対して立ち寄りたくなるフロントエンドとなる強いコンテンツで集客し、バックエンドの魅力的な情報関連への誘引動線を設計するなど。上記であった「学習」をテーマとした「道の駅」を展開することで、お土産を通じた地域学習や地域PRを達成させることも可能だと思います。P42の機能配置イメージに関しまして、細かなレイアウトはともかく、改札を出て来た来訪者や車で駅前に訪れた来訪者へ対し、施設として立ち寄りたくなる様なきっかけを創出するファサードとして魅力的なテンションは必要だと思います。例えば、入り口部分だけでもしっかりとしたファサードの建築にし、フロントエンドコンテンツへの興味を惹きつけるだけの立ち寄りたいたいと思わせる集客性を持たせる設計にするなど。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設をイメージしています。施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
89	<p>計画に大賛成です</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
90	<p>大賛成です。早急に進めて頂きたいです。</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
91	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）への意見を述べます。 今回の「意見募集」（パブリックコメント）は、計画（案）が策定された後におこなわれています。これは「地方自治の本旨」に照らして、問題があると考えます。 日本国憲法第92条で、「地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基いて、法律でこれを定める。」と規定しています。 「地方自治の本旨」には、主には二つ意味があるとされています。一つが「住民自治」であり、もう一つが「団体自治」です。 地方自治の本旨である「住民自治」は、住民の意思に基づいて行われるということです。「団体自治」は、地方自治が国から独立した団体に委ねられているということです。 地方自治体が行う事業などは、この2つの地方自治の本旨に基づいて行われているかどうかを検証されなければなりません。 「住民の意思に基づいて」ということになれば、今回のような駅前市有地活用の事業計画は、計画案の策定前に説明会を開くなど広く市民に知らせ、市民の意見を聞いたうえで策定されるべきものです。そうした意味で、2025年4月オープンという拙速な計画を見直し、まず市民説明会を開催し、市民の意見が広く反映できるよう公募による「検討委員会」や「公聴会」などを開催することを求めます。</p> <p>合併前の五日市町は、駅前町有地に、「複合文化施設」（通称・秋川流域総合センター・1992年策定の計画）などを整備する計画でした。武蔵五日市駅前土地区画整理事業が完了する1996（平成8）年に完成を目指していました。これが1995（平成7）年の合併によって、棚上げになったまま、今日を迎えています。 当時の五日市町は、1968（昭和43）年に発見された「五日市憲法草案」に関して、「五日市憲法草案記念之碑」建設のための、町あげでの募金運動、憲法案起草者・千葉卓三郎生誕の地・志波姫町（現栗原市）との「友好姉妹都市」締結などの余韻が漂っている時期でもありました。五日市憲法草案は、「個人の尊重」という近現代憲法の本質にたつて、自由と人権をしっかりと規定している点で日本国憲法の“源流”と評価されています。すべての中学校の社会科教科書に取り上げられています。2012年に当時の天皇陛下とともに五日市郷土館で五日市憲法草案を視察された皇后陛下は、2013年の誕生日を前にした宮内記者会への回答で、「近代日本の黎明期に生きた人々の、政治参加への強い意欲や、自国の未来に向けた熱い願いに触れ、深い感動を覚えたことでした。長い鎖国を経た十九世紀末の日本で、市井の人々の間に既に育っていた民権意識を記録するものとして、世界でも珍しい文化遺産ではないかと思えます。」と高い評価をされました。 こうしたことで、旧五日市町民の多くが郷土の誇りと考えているのです 五日市地域には、3億年前から現代につながる7つの地層が扇の要のように連なっており、各時代の化石が発見されており（白亜紀を除く）、自然史研究では世界に誇れるフィールドを持つ地域です。 私は、この点に注目し、1982（昭和57）年、「都立または国立の自然史博物館を誘致する」ことを提唱いたしました。この提唱は、町長からは、「お説のとおり地学の宝庫、努力してみたい」。教育長からも「非常に綿密な内容、町長ともタイアップしながら都あるいは国に働きかけてゆきたい」という考えが示されました。 以後、五日市町議会では、1989（昭和64）年までの7年間で、自然史博物館誘致に関する一般質問が10回なされ、1984（昭和59）年3月議会では、さらに、自然史博物館の誘致をすべきとの質問がされ、自然史博物館誘致は町あげでの運動となりました。 以後、町議会は、埼玉県立自然史博物館（1984年4月26日）、瑞浪化石博物館（1985年5月15日）を視察、大阪市立自然史博物館と倉敷市立自然史博物館を視察（議会常任委員会・1989年5月12日）するなど、全国の先進地に学び五日市の特性にふさわしい博物館を誘致するため努力しました。東京都議会でも、自民党都議、日本共産党都議が五日市町（当時）に都立自然史博物館の設置を求める質問をしました。 こうした運動で、1985年度東京都予算に200万円の調査費が計上され「東京都自然史博物館整備検討委員会」が設置され、約2年間に10回の検討が行われました。ところがこの検討委員会に自然史の専門家が入っていなかったことなどで、検討委員会の報告書が「自然科学博物館」の整備ということになり、五日市町の地質・自然史を活かすという視点がぼやけてしまい、結果的に五日市町への「東京都自然史博物館」建設は実現を見ませんでした。とある有識者の方は、三内初後地区一帯を候補地とする「東京都自然史博物館（仮称）」設立案を作成していました。本館、中央館、水族館、地震気象館、天文館を含む設立案でした。これが実現していれば、五日市は、世界的に評価される地域であることで、多くの見学者、研究者が訪れる町になっていたに違いありません。地域の振興にとって大きな財産になるはずでした。</p> <p>五日市駅前市有地は、合併前の五日市町が町民の税金で確保した貴重な市民（旧町民）の財産です。この市有地の活用にあたっては、合併前の五日市町民が誇りとした五日市憲法草案や町ぐるみの要求・運動となった地質・自然史という五日市の誇れる特性・魅力について紹介できる活用をすべきと考えます。 市長、ならびに担当部課に、再検討を強く求めます。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。 五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。 市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
92	<p>武蔵五日市駅前開発に賛成です。 子どもたちの活性化だけでなく、街の活性化にも繋がるのでとても良いと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
93	<p>武蔵五日市駅前の開発について賛同です！</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
94	<p>開発賛成です。 是非、明るく楽しくショッピング飲食等出来る町作りを期待します 又、モノレール誘致をさらにお願いたしますm(_ _)m</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>※ 武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）と直接関わらないご意見につきましては、市の考え方の明示は控えさせていただきます。</p>
95	<p>武蔵五日市駅前、駅前開発に賛成します。 子どもも一緒に楽しく安心して過ごせる環境になると嬉しいです。 子連れの保護者はどうしても荷物が多くなるので、荷物を置いてゆっくりできたら（スペースの保障）とても助かります。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
96	<p>財政が厳しく、生活困窮者を助けることが満足にできていないのに、緊急性の全くない駅前再開発なんぞに、私たちの血税を使わないでください。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
97	<p>私自身は、個人として毎年あきる野市で開催される日本山岳耐久レース（ハセツネCUP）に出場しているトレイルランナーでもあります。日々、トレーニングで都心と秋川流域の山岳とを行き来する中で、秋川流域に眠っている価値と、都心など域外の視点から見る秋川流域の価値との両方を熟知していると自負しております。</p> <p>私は、早くから秋川流域のポテンシャルに着目しております。その中で、独自に武蔵五日市駅前に求められる機能と必要なデザイン面について、有識者を含めて議論・検討を続けてきておりました。</p> <p>この度、あきる野市様にて秋川流域の活性化に向け、武蔵五日市駅前市有地の活用に向けた取組を進めるためにまとめられた「武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)」について拝読し、賛成の立場からは是非ともご意見とご提案とを申し上げたく筆を取ります。ご一読賜れましたら幸いです。是非とも武蔵五日市駅前市有地活用計画を具体的に進め、秋川流域の活性化を実現致しましょう。弊社も微力ながら全力でサポートいたします。</p> <p>弊社は、公開されたあきる野市の武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)に関して、以下意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 弊社は、秋川流域を拠点とする事業者として、この度あきる野市様が策定した武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)に賛成致します。観光業・飲食業を主力とする秋川流域の経済的発展と更なる価値向上に資すると考えるからです。</p> <p>具体的には、以下のとおりです。 (ア) あきる野市が行ったアンケート調査、報告書、首都大学東京の提言における人口動態、駅利用状況、秋川流域観光地の状況等の現状分析で得られた知見が、弊社が独自に行っている市場調査の内容に合致しており、妥当な内容である。 (イ) 対象エリアについて、現状計画のとおり、駅前広場を挟んで市有地の反対側や、秋川街道を挟んだ反対側のエリアについては含めない方がよい。理由は、それらのエリアは、今回の計画の主たる対象エリアである武蔵五日市駅前市有地との間に交差点や横断歩道・信号等があるため、一緒にエリア化してしまうと人流・商流を大きく妨げてしまい発展を阻害する恐れがあるため。 (ウ) 計画で導入機能とされている武蔵五日市駅前に必要な機能（情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能）が、弊社が行政に対してこのエリアに求めたい機能をほぼカバーしている。特に、弊社調査では、アウトドア活動を目的に訪れる観光客・リピーターが（可処分所得及び購買力の面では）主体であることが判明しており、これらの層が武蔵五日市駅前市有地（長い信号や横断歩道などを越えることなく駅や駐車場にアクセスできることが重要）に必要としているシャワー・ロッカー等の休憩機能の充実は必須であると考えます。</p> <p>2. 上記市有地活用計画の推進においては、以下の観点を重視して進めていただくようお願いしたいと考えています。 (ア) 市の予算枠の中で小さくまとまるのではなく、民間資金・活力を積極活用すること（民間のリスクを取ってチャレンジする力、先行投資する力を活かす） (イ) 現在そこにいるというだけの既得権を持つ業者や自己利益だけを考慮して騒ぐ者を優先するのではなく、行政としてはどんどん新規参入を促し、民間業者間の自由競争を促す環境を整備することに注力していただくこと（競争原理に基づき、民間の競争を促進することによる新しいアイデアと新陳代謝が生み出すダイナミズムと若い力をどんどん活用して、秋川流域やあきる野市をよりよく発展させていきたい）</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
98	<p>武蔵五日市駅前開発に、賛成いたします。 小さなお子様をお連れの方にとってはおむつ替えや授乳ができるような休憩室があると、安心して訪れてくださると思います。また、ゆっくり座れるような場所があると、年配の方々にも喜んでいただけたと思います。 終着の地であり、出発の地でもある武蔵五日市駅前。 どんな風になっていくのか、楽しみです。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
99	<p>賛成します。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
100	<p>賛成 早く作って下さい。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
101	良い施設を希望します。お願いします。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
102	早く作りましょう	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
103	五日市駅前を活用して下さい	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
104	五日市駅前に良い施設を作って下さい。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
105	駅前に施設をお願いします	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
106	駅前に施設をなるべく早くお願いします。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
107	駅前に施設をお願い致します	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
108	五日市駅前になるべく早く施設をお願いします。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
109	五日市駅前に沢山の人が利用できる施設をぜひお願いします。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
110	武蔵五日市駅前の私有地の活用について、駅前なので利用される方が多いと思いますし他の市町村の方も利用しやすいと思います。計画案の最後のページに記載されているイメージ図を見る限りでは、とてもいい感じになると思います。是非、前向きに進めていってほしいです。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
111	武蔵五日市の駅前開発に私は賛成です。周りにグランピング施設もあるので車で休める環境がある事でさらに客足が見込めると思います！	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
112	武蔵五日市の駅前開発について、賛成です。あきる野市は西東京の中でも、自然と立地の良さを兼ねそのえた唯一の素晴らしい場所です。よりよく活性化して欲しいと考えております。知名度を上げるためでも、ファミリーで楽しめる場所ができることを望んでおります。この取り組みに期待をしつつ応援しています。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
113	武蔵五日市駅前が開発されると聞き、是非ともこのエリアが活性化することを期待し、賛成させていただきます。是非とも、宜しくお願い致します。	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>
114	賛成です。ぜひ進めて頂きたいです。	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
115	<p>武蔵五日市の駅前開発について、とても良いと思います。 日陰で休めるようなスペースがあると、人も集まりやすいかと思います。 この取り組みに期待をしつつ応援しています。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが来店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
116	<p>○中嶋市長は、三月議会の施政方針の中で、五日市駅前の市有地活用について触れたようだが、その後、広く市民の声を聞くことのないまま、短期間で「活用計画（案）」が策定され、パブリックコメントが募集された。計画案ができた後で意見を募集するのと、計画を立てる前に意見を聞くのでは、まるで意味が違う。 市の基本姿勢としての「市民と協働」「共同参画」と、この計画案の作成過程は整合しているだろうか。また、このような進め方で、前市長のやり方を批判して当選した市長の言う「合意形成」ができると思うのか。ぜひ答えてほしい。 ○計画案の「はじめに」では「市有地の活用を求める声が高まっている」と書かれているが、本当にそうなのか？私自身、五日市駅から電車に乗ると、周辺の商店で買い物すれば、時には駐車場の利用するが、「市有地の活用」など考えもしなかった。自宅近辺の人からも、館谷に住む友人・知人からも「あそこをなんとかしなくっちゃ」などという声を聞いたことはない。 「五日市まちづくり協議会」という団体は、駅前市有地の活用を要望したのだろうし、それ自体が悪いわけではない。しかし、その団体だけの要望で今回の計画が策定されたのだとすれば（しかもその団体は議員時代の中嶋氏が中心になっていたのだからなおさら）、市政が特定の団体の利益のために行なわれているのではないかと、との疑念を持たれてしまう。 なお、計画案には「駅前から五日市の魅力を発信する会」という団体からの要望書が紹介されているが、この会は、市長の施政方針を見て急拠立ち上げられたようで、要望書の提出は6月30日。7月上旬に決定された「活用計画（案）」にきちんと反映されるはずもない。 ○「はじめに」には、この計画が'11年の「報告書」と'14年の「提言」を基本にして策定されたように書かれているが、内実はまるで異なったものになっている。 当時、駅利用者に対して行なわれたアンケート調査（回答者354名）では観光客が62%強で、地元の回答者は少なかった。他に商店街事業者を対象にした懇談会を2回開催している（参加者22～23名）が、一般市民の意見を聞いているわけではない。 つまり、行政として、市有地を活用して、五日市地区の活性化を模索したということで、その時は、（多分）財政事情も考慮した上で、官民パートナーシップ事業を想定している。その上で首都大学東京の「提言」を受けているが、そこでは民有地（西東京バスの車庫）との等価交換案が示され、それに基づいた計画案となっている。だから、現市有地をそのまま使い、しかも市の予算を使っただけの計画案では、どう見ても「それを基本に」つくられたものとは言えないはずだ。 ○財政に余裕のある自治体であれば、より良い駅前環境を整えることを計画するのも良いだろう。しかし、多摩地区で1,2を争う（？）ほど財政の厳しいあきる野市であり、進行中の引田駅前区画整理事業でも、当初見込んだ国や都の補助金を大幅に減らされ、市の支出が何億円も増えるという。また、老朽化が進む給食センターに対し、新しい給食センターの建設は、一日も早く進めなければならない状況だ。その上、秋川高校跡地周辺の整備計画もあるとも聞こえてくる。 そんな中で、民間からの投資もなく、市の予算で駅前の再開発を行なうなど、正気の沙汰とは思えない。将来に渡って健全な財政が保証できるのか？次世代にツケを回すことにならないのか？ そういう情報もきちんと示した上で、「市民と協働」して一緒に考えるべきだろう。周年行事に合わせる形で、今から一年八ヵ月後には、もう施設の運営開始と決めているが、「働き方改革」で、建設業界にも残業規制が厳しくなり、突貫工事など考えてはいけない中では、とてもまともな計画とは思えない。 折しも物価高騰が続き、資材がどこまで高騰していくのか不明だし、人件費も増えていくだろう。市民の生活も苦しくなっている中で、もっと緊急性の高い施策に予算を振り向けるべきだ。一度立ち止まって、やるべきかどうから考え直してほしい。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたことから、「市有地の活用を求める声が高まっている」としてしております。また、本計画（案）の取りまとめに当たりましては、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考にしております。 本計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめしております。また、西東京バス社有地と市有地との土地交換につきましては、市有地活用の方策の一つとして、西東京バス株式会社様と市との間で協議・調整を重ねてきましたが、実現には至らず、本計画（案）の作成に至っております。 市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面でも、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
117	<p>私は7月7日に開かれた環境建設委員会を傍聴しましたが、分からないことが多々あり、その一つは審議日程です。 これまでの経過を思い出してみると次の様になります。 6月議会最終日 市長が全員協議会に「計画案」を発表する 7月7日 環境建設委員会にかけられる 7月15日 広報で意見募集をする 8月7日 意見募集を締め切る 9月議会 設計委託費を上程する（と聞いている） 計画発表から決定まで実質二か月という異常に短い期間しかありません。市有地が活用されることは喜ばしいことで、そのためには市民の要望を十分に聞くことが不可欠です。五日市の住民向けはもちろんのこと、他の地域でも説明会をもち市民の意見を広く聞く必要があります。以上をもって「市有地活用計画案」に対する私の意見とします。</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面でも、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。 市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>
118	<p>早く作りましょう</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。 市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面でも、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
119	<p>私は就職と同時に五日市町に来て55年になります。町の時代に町民の税金で買い戻した駅前土地の活用については関心を寄せてきたつもりです。ところがこの度の突然（と感じました）の案の発表とパブコメについてはびっくりしました。事前に何の説明も市民への相談もなかったと思います。市民の生活、市の将来に大きくかわる事柄については丁寧に時間をかけて、説明会を開いたり広く意見を聞く機会を設けるのが当たり前の市政のあり方だと思います。一部の人の意見を聞くだけであとは形だけのパブコメをやることで物事が決められることに憤りを覚えます。</p> <p>五日市まちづくり協議会については駅前ワーキンググループで3回の会議を行ったとありますが市民に開かれた会議ではありません。駅前から五日市の魅力を発信する会は発足してまだ3か月、広く市民や駅利用者の声を集め、これから活動を始めようとしているように思われます。急ぎすぎていませんか？何故そんなに急ぐのですか？</p> <p>聞くところによりますと、来年3月には施設のデザイン及び設計、令和7年には施設の建設と運営主体の検討をするスケジュールになっているとか。</p> <p>今回のパブコメはいつどのように検討され、計画に反映されるのか大変疑問です。このスケジュールは活用計画案には書かれていません。市のHPを見ましたが探せませんでした。ちゃんと市民に分かるように知らせてほしいです。</p> <p>もっと時間をかけて、説明会を開いたり、市民の意見を聞く会を開くなどして、市民の財産である駅前市有地が市民に納得のいく形で活用されるよう強く要望いたします。</p> <p>案の中味についてです。30ページ（2）の旅行市場の傾向の中に「旅行先の歴史や文化を学ぶこと」というのがあります。これについては、まさに五日市には「五日市憲法草案」と「地質・自然史」という二つの世界的といってもいい宝があります。「駅前から五日市の魅力を発信する会」では要望書でこのことに触れていますが、活用案には取り入れられていないようです。今、あきる野市ではこの二つの事柄の展示があちこちに分散していて来訪者には分かりにくい状態ではないかと思います。</p> <p>駅前の施設には「五日市憲法草案」と「地質・自然史」など五日市の魅力を分かりやすく発信することができるコーナーに一定のスペースを取るよう要望いたします。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>また、本計画（案）の取りまとめに当たりましては、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考にしております。</p> <p>五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）で記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
120	<p>30年以上もの間の懸案事項であった本件が前に進み出したことで、あきる野市・日の出町・檜原村の3市町にとっては、将来の観光産業の拠点として非常に大きな役割を果たせる施設として積極的に推進すべきである。</p> <p>今後は、あきる野市の健全な財政を堅持するとともに、観光客を含めた将来的な人口流入や観光収入等を十分に分析・予想しつつ、計画に遅延することなく押し進めてもらうよう要望します。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>また、市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p> <p>市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
121	<p>■武蔵五日市駅前に望む機能 “観光教育のハブ”となる場の創設 =Tourism education hub</p> <p>■観光教育のハブとは 観光を学問とする動きやその必要性は周知なので割愛しますが、大学や専門学校をはじめ、小中高校、企業、官庁までのあらゆる人々が “ここに来れば観光や地域活性を起点としたアクションの答えやヒントが見つかる”と思える場を造ってほしい(造りたい)と考えています。</p> <p>■優位性（当該計画地がどれだけ、このコンセプトに適した土地か） ①優れたアクセシビリティ 計画地は駅前なので電車のアクセスが優れています。また、圏央道からも比較的アクセスが良く大型車を含む車両の駐車が容易です。 ②いずれそれぞれの地元に戻っていく人々が一時的に集中している圏内。 日本の学生の40%は首都圏に集中しています。中央省庁も同じ都内。日本の中でいずれUターン、Iターンの起点になる人々がそのアクション前に多く存在しています。これは、観光教育や地域活性を自分事として考えている人が多いことを示唆しています。</p> <p>■そんな難しいコンセプトがどうして成立すると考えているか 教育分野はリモート化が進んでいる一方、フィールドワークへの価値にウエイトを高めています。当該場所をこういった観光教育を学問とする大学等にサテライトオフィスとして契約件数を目標50校程度で目指します。 “学校側にとっても近場の地方“を拠点化できると共に、”他大学やゼミとの交流場”として連携性も高まります</p> <p>■現在想定している、場としての必要機能 従来型のコワーキングスペースのような半個室を5-8室程度 ゼミや大学単位で何かをテスト販売したりできる対面店舗スペース(キッチン含む) 交流の拠点となるようなキャパシティ200程度の空間 駐車場・・・他</p> <p>■この計画が良いと思う理由 学生等は4年以内のサイクルでどんどん入れ替わっていきます。これはモチベーションや新しい発想が常に維持されます。 ここを卒業すると、卒業後も訪れてくれる可能性が高まります。(第二の故郷化) 時代のニーズにマッチ(多くの学校は同じ目的を持った他大学と自然に交流できる場を求めています。) 新しい観光の切り口やマーケティングが生まれ続けます。あきる野の観光課などが疲弊しない。 流動人口の創出 収益性：テナント利用料は教育機関の方が安定すると考えます。</p> <p>■地域と当該場所との接点(考えられるケーススタディ例) ①当該場を利用するゼミAが地元菓子屋さんと一緒に新しいお菓子を開発、店舗と当該場の販売スペースで試験販売(助成金が利用しやすい) ②当該場を利用する大学Aが観光アクティビティを地元観光事業者と共同開発、大学と業者による情報発信でメディアが取り上げる ③地域コンテンツでメディア制作をしたい専門学生が檜原村の1日観光お薦めプラン動画を3分半にまとめて作成。 ④建築設計をおこなうゼミがリノベーションする空家の計画設計をおこなう。</p> <p>■当該場所を造るのに想定される必要な管轄 営業：大学をはじめとする教育機関へ提携アプローチ 広報：メディア対応や情報発信、ニュースリリースを実施 システム：当該場所の利用予約システム 敷地・建物設計プランニング 他</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所や、秋川流域で地域活性化の取組等を行っている様々な団体、商業者・観光事業者などと連携したイベント等を通じて、秋川流域の活性化につなげる場所にしていきます。</p>
122	<p>あきる野市長は「市民の意見を聞きながら駅前開発を進めていく」というような発言をされましたが、パブリックコメントを受け付ける前にパブリックコメントを募集して反映できるような段階ではない位、計画が進んでいると感じました。いつどこで「市民の意見を聞いたのか皆目見当が付きません。そこで、「市民説明会開催」を要望します。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>
123	<p>市長は、あきる野市に必要なだと確信しているのでこの計画を進めるのだと思います。必要な計画には賛同いたします。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
124	<p>－映画と美術の街づくりへの提言－</p> <p>映画の街、秋川溪谷の街として、近年、街づくりに専念しておられることは、その活動から、様々なメディアでの紹介・報道で十分に拝察されます。</p> <p>私が思うに、あの武蔵五日市駅の市所有地に、映画館と秋川溪谷を題材にした美術館の創設が望ましいと思います。</p> <p>映画の街として、あきる野映画祭を35回まで行い、どここの市町村にもまねのできない独自の映画作りとフィルム・コミッションの創設・活動を行ったことは、遺産として残っています。</p> <p>今後、神奈川県川崎市アートセンター・アルテリオ映像館を見本にして、中規模映画館を創設し、運営していただきたい。</p> <p>それは、秋川溪谷の社会教育・生涯教育施設として、活用されるだけでなく、エンターメント及びレジャー・レクリエーションの場として、利用できます。</p> <p>また、秋川溪谷の美術・芸術の拠点がなく、その点から、美術館の創設が、望ましい。</p> <p>五日市・養沢で活躍した犬塚勉さんという山岳・登山画家がいました。その方の絵画は世界に通用し影響もするものである。その方のコピー画を展示し、中心に据えて、「秋川溪谷美術館」を開設していただきたい。</p> <p>美術館は、プロといわれる方でなく、アマチュアの方の発表の場としても使えるよう計画することが望ましいです。</p> <p>両施設については、地上4階から5階の建物にして、防災の観点から、1階は、駐車場・荷卸場とする。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
125	<p>五日市、あきる野市は自然豊かな河川がありますね。</p> <p>又、森もあって。</p> <p>今、地球温暖化で熱波も問題。</p> <p>良く仕事の都合で、四ツ谷の coworking にいきます。</p> <p>駅からすぐで、主に若年層がわいのワイの仕事してますわ。</p> <p>もちろん、四ツ谷と同じものは環境が違いますが。</p> <p>考え方の変化とインフラ整備で、仕事と私生活の境界を定めていない人の場所を提供するのはどうでしょう。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
126	<p>7月15日付「広報あきる野」に、「武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)に対する意見を募集します」とのお知らせがありました。このことに対する私の意見を述べたいと思います。</p> <p>その前に、この、いわゆる「パブリックコメント」そのものについて意見を述べます。</p> <p>私はあきる野市報を見てすぐに市役所に赴きました。この計画(案)の全文を読みたかったからです。4階の資料コーナーにあると分かり、探しました。棚に分厚い資料のファイルがありました。持ち帰れるものがあるかと思いき、職員の方に伺いました。職員の方がおっしゃるには配布できる形のものはない、市役所や図書館に置いてあるものを見てほしい、市のホームページにも載っている。必要なら資料コーナーでコピーも取れます(有料)とのことでした。(全161ページ！)</p> <p>私は驚きました。大事な市の計画に対してパブリックコメントを募集するということは大変良いことだと思っています。しかし、その計画の内容を知り、意見を出したいと思っている市民が手間やお金がかかる方法でしか計画を見ることが出来ないのでは仏作って魂入れずのたとえのように、本気でパブリックコメントを求める気持ちがあるのか疑問に思いました。</p> <p>私が体験したのは今回が初めてです。以前からパブリックコメントの対応は同じだったのかもしれませんが。しかし、より多くの市民の意見を聴くのであれば、これまでの方法については再検討を求めたいと思います。</p> <p>さて、計画(案)についての意見です。</p> <p>1. そもそも、武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)は、平成23年3月に出された「武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書」と平成26年3月に現東京都立大学に委託してまとめられた「武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言」を元に今回新たに策定されたものです。</p> <p>いずれの報告・提言共に10年以上前に出されたものです。(提言は9年)。今回の計画(案)はその後の社会環境の変化等を踏まえて策定したとあります。しかし、制定に当たって、広く市民の声を聴いたとは思えません。現に、意見を出しているのは2団体のみです。パブリックコメントで意見を聴くから良いと思われているのでしょうか？後でも述べますが、6月の市議会全員協議会では、9月議会に設計委託費を計上するとしています。市制30周年に合わせて運営開始とも聞いています。五日市駅前市有地活用計画の検討は拙速に進めるのではなく、少なくとも市民に対して説明会を開いて計画(案)を知らせ、広く意見を求めることが必要と考えます。</p> <p>2. 具体的な施設・機能についてですが、計画(案)ではケース1の「観光振興プラザ案」を選択したとあります。しかし、秋川流域の魅力を発信するには全国的にも貴重な化石「ステゴドンミエンシス」などが発掘されていることや、現憲法にも通じる「五日市憲法草案」が生まれた事などを押し出すことも必要と考えます。</p> <p>3. 運営開始を市制30周年と五日市線創業100年に合わせて2025年7月運営開始を目指していると聞いていますが、スケジュールありきの進め方ではなく、広く市民の声を聞いて進めるべきだと考えます。</p> <p>4. 「施設のデザイン・設計、施設の管理運営について、様々なノウハウを有する民間事業者の検討する。」とあります。民間事業者の参入にはPFI、指定管理、公設民営など様々な手法が考えられます。特定の業者に偏らない公平な選定を求めます。ちなみに、私の経験したところによると、PFI、指定管理は結局経費は高くつく、公共団体の持ち出しが増えてくると言うことははっきりしていると思っています。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。実施に当たっては、希望する全ての方に本計画(案)の冊子を配布することは困難であることから、窓口等又は市ホームページでの閲覧といたしました。</p> <p>ご意見の1につきまして、本計画(案)は、武蔵五日市駅前市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1(武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書)と資料2(武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言)を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。</p> <p>ご意見の2につきまして、五日市憲法草案や五日市の地質・地形(ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア)につきましては、本計画(案)の基本である資料1(武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書)に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p> <p>ご意見の3につきまして、市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p> <p>ご意見の4につきまして、施設の設計や管理運営等を民間事業者に委託する際には、適切に選考してまいります。また、施設の管理運営につきましては、今後、検討していきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
127	<p>ページ8 要素を様々に詰め込みすぎて本質がぶれている。 地域住民のための施設にするのか、観光客のためのものにするのか、明確な選択が必要。 私自身は、地域住民のための活用をするべきだと考えている。 それは、移住促進を考えた時に、実際の住民の声や口コミは行政の発信よりも移住意思決定に大きく影響を及ぼすから。 ページ8 観光資源を有する自治体が実施中のことをコピーするだけの計画で新鮮味がない。 ランステなどは、すでに駅前の民間事業者が有している機能であり今更行政の施設が提供する必要があるのか疑問。 GoogleやSNS以上の情報発信できる観光案内所を設置するための具体的な記載がない。 そういう情報発信ができなければ、いまだに観光案内所は不要。SNSをフル活用して発信するか、デジタルサイネージを設置して情報を流しておいた方が有益。声を届けられるようにページ数に対して、2点コメントさせて頂きましたが、最後に具体的なページないのですが、普段、五日市駅前で感じることとアイデアを書かせて頂きます。</p> <p>私は15年前に都心からあきる野市に移住してきました。畑作業や山登り、沢登り、トレラン、自転車など楽しむため武蔵五日市駅前を利用させて頂いています。 清流ハンターとして、全国津々浦々に清流で遊んだ経験から秋川は本当に素晴らしい川です。 秋川はダムがなく通年で穏やか水温であり岸边には紅葉樹の木陰と剥き出しの岩盤のコントラストも美しく素晴らしい河川です。 ここに訪れる観光客は、そのような景観に心躍らせ秋川を目指していると思います。 そんな観光客たちは電車で1時間半ほど揺られ武蔵五日市駅に降り立ち、改札を抜けてロータリーに出てますが、ロータリーはアスファルトに覆われ、木陰もタクシー乗り場とバス乗り場の前だけ。楽しみにしていた空気感を感じることなくバスに乗り、檜原村へと向かいます。檜原村の豊かな自然に触れて、旅は大満足。 「東京とは思えない素晴らしい場所だったね、檜原村」となる人が多いです。</p> <p>玄関口となる武蔵五日市駅は、自然環境が地域資源という五日市エリアの最も素晴らしい特色でもってゲストを迎え、地域住民の憩いの場所となるような場所が良いのではないかな、と思います。それは、便利なショップや観光案内所ではなく、アスファルトを剥がし土壌を取り戻し木を植え木陰を作り、丸太を切ったイスを置くだけの森のような空間でいい。 土壌と植物が調和した空間は、人を落ち着かせリラックスを誘う。このような空間を創造し大切に作る姿勢は、SDGsやサステナブルという時代遅れのマーケットプレーズを実施するというものではなく、それら古いプレーズを包括する本質的なものであり、自然資源に生きるあきる野市のスタンスとして一切の矛盾のないものであると思います。そして、移住を促進するために、このような姿勢を言語化するのであれば、あきる野市は一言だけ表現すればいいです。「500年先の未来の子供へこの森を繋ぐ」と。この地球で最も普遍的な価値を知る人々はこの地へ移住してきます。</p> <p>もっと言えば、森の中にアートがあると良いと思います。有名な作家である必要はなく、大きな作品である必要もありません。駅前の森の中で、子供たちがこっそり見つけるようなアートが良いと思います。地域の子もビジターの子も、こっそり見つけたアートを旅の思い出とともに持ち帰れるとステキだな、って思います。 SDGsなんていう言葉をわざわざ使わなくても、このような姿勢を見せれば、住民やビジターは行政が何を大切にしようとしているのか、自ずとわかり、口コミを拡げていくと思います。 行政は地域の資源を矛盾なく大切に、住む人々の暮らしを支え続けることに専念するのが良いと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの情報とともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報も発信する場所や、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
128	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画案43ページ読ませていただきました。個々のページというより全体を読んだ上での意見をさせていただきます。</p> <p>まず、五日市駅前市有地の活用については、五日市地区の市民だけの問題ではないにも関わらず、今まで市から市民全体への広報が見当たらず、平成23年、26年の取りまとめフロー後のその後の動きが伝わっていません。また、今年になって、市民の動きとして掲載されている今年1月から3月までの間に3回の会議を行なったという「五日市まちづくり協議会」や、今年4月に集いを持ったという「駅前から五日市の魅力を発信する会」についても近隣の友人の誰に聞いても「聞いたことがない。五日市の人だけの話？」という認識です。</p> <p>今年になってあきる野市の一部の市民しか認識していない計画案が、急遽現実化しようとしているらしいことに危惧を抱いています。</p> <p>また、マスタープランなど読ませていただきましたが、特に目新しい事はなく、市の抱える問題として、この計画を急いで実施に向け動き出す必要も感じられません。</p> <p>まずは、あきる野市全体の問題として、他地区の市民に広報し、情報を共有してから計画を練り直すべきだと思います。</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p> <p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
129	<p>中嶋市長が就任されてあっという間に塩漬けだったこの計画が進み、予算がついて工事が始まるという決め方に強い不信感があります。中嶋市長は村木前市長の老人ホーム建設計画の決め方など市政の進め方を批判して「合意形成」に努めるとして市長になったと思うのですが、自分の「お仲間」だけで決めてしまうのは「合意形成」「民主主義」ではないと思います。市長の任期中の手柄にするため、五日市線100周年やあきる野市30周年に合わせるため住民の意見や様々な検討事項・交渉事(例えば市有地を西東京バス駐車場との交換の交渉をあきらめずに行うとか)をすっ飛ばして急激に進めています。このパブリックコメントも広く市民に周知されていると思えないし、市民の意見を聞いたという言い訳に使われるだけで、どうせ計画が進むという懸念が拭えません。この意見のフォーマットも「計画案の〇ページについての意見」を書いてくださいと、計画が進むことが前提です。意見は細かい部分の疑問や修正をしてください、という形です。</p> <p>檜原村民も五日市駅を使用するのに村民の意見はまったく聞いてもらえないと怒っていると聞きました。</p> <p>結果的に良いものができるんなら良いじゃないかという意見があるようですが、それは民主主義ではないと思うので、もっとゆっくり、丁寧に「合意形成」に努めてほしいと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。</p> <p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、本計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。</p> <p>なお、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、パブリックコメントにおける意見の提出は、市民以外の方でも意見が提出できるようになっております。</p>
130	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）への意見を述べます。</p> <p>まず、今回の「意見募集」（パブリックコメント）は、計画（案）が策定された後におこなわれています。地方自治の本旨に基づいて、駅前市有地活用の事業計画は、計画案の策定前に説明会を開くなど広く市民に知らせ、市民の意見を聞いたうえで策定されるべきものです。そうした意味で、2025年4月オープンという拙速な計画を見直し、まず市民説明会を開催し、市民の意見が広く反映できるよう公募による「検討委員会」や「公聴会」などを開催することを強く求めます。</p> <p>活用計画に対して市民としての意見を申し上げるなら、各地の開発成功事例から学ぶべきです。それには武蔵五日市駅の壁にあるような「東京のふるさとあきる野」「あきる野らしさ」を前面に出してはと考えます。</p> <p>たとえば、五日市地域には、3億年前から現代につながる7つの地層が扇の要のように連なり、各時代の化石が発見され（白亜紀を除く）、自然史研究では世界に誇れるフィールドです。あきる野市教育委員会発行の「五日市むかしむかし」にもある「自然史博物館」構想が実現していれば、五日市は、世界的に評価される地域であるということ、多くの見学者、研究者が訪れる町になっていたに違いありません。まさに東の葛西臨海公園に負けない地域の振興にとって大きな財産です。</p> <p>また、五日市憲法草案は、中学校の社会科教科書に取り上げられているように「個人の尊重」という近現代憲法の精神にたつて、自由と人権をしっかりと規定している点で日本国憲法の“源流”と評価されています。民権意識を記録するものとして、「世界でも珍しい文化遺産ではないか」（五日市憲法草案を視察された当時の皇后）と高い評価をされたほどです。</p> <p>イベント中心のまちおこしでは必ず失敗します。</p> <p>多くの市民が郷土の誇り、財産と考えているものを大切にすべきです。</p> <p>そこにおのずから人は集まるはずです。</p> <p>私は、五日市駅前市有地は、合併前の五日市町が町民の税金で確保した貴重な市民（旧町民）の財産。この市有地の活用にあたっては、合併前の五日市町民が誇りとした五日市憲法草案や町ぐるみの要求・運動となった地質・自然史という五日市の誇れる特性・魅力について紹介できる活用をすべきと考えます。</p> <p>市長、ならびに担当部課に、再検討を強く求めます。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p> <p>また、五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
131	<p>武蔵五日市駅前市有地活用については、今急いで決めるべきなのでしょうか。</p> <p>大いに疑問です。</p> <p>施設を造るのであれば、もっと多くの市民と話し合いながら決めるべきです。</p> <p>たとえば地方自治の本旨である住民の意思に基づいて市民の意見が広く反映できるよう公募による「検討委員会」や「公聴会」などを開催することを強く求めます。</p> <p>もし武蔵五日市駅前市有地活用するとしたら、五日市憲法記念館や東京都自然史博物館などの複合文化施設の建設を希望します。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p> <p>また、五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
132	<p>私は、秋流ジオの会や市民解説員の活動でよく武蔵五日市駅を利用しますが、駅前には、リックを背負ったグループでにぎわい、また自転車や檜原の方に走行するグループなども見かけます。</p> <p>武蔵五日市駅は、本当に拠点です。その意味で駅前にふさわしい施設、五日市の情報を発信する施設があればと思います。以前からいろいろと計画案も出されていたようです。自然史や五日市憲法と自由民権運動など五日市ならではの情報発信基地などもそうです。</p> <p>従って駅前の活用については、「拙速する」のではなく、限られたスペースをどう活用するか、明治初期、渋谷が村であったとき、五日市が「町」であった、そのような五日市の歴史を見て感じる施設であってほしい。また「ハイカー」にも自然と地質について、そうなんだと思う施設であってほしい。そのためにはまず、「拙速」ではなく、それらの意見を集約していただきたいのです。</p>	<p>五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p> <p>本計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
133	<p>私は2023年7月7日に環境建設委員会を傍聴した1人の市民です。駅前市有地について多くの市民は殆ど知らないまま行政側がどんどん先に走っていることを知りました。</p> <p>住みやすく自分の街を誇れるものとするためには市民との二人三脚がとって大切なのではないかといつも思っています。その気持ちをもって「武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）」を読ませていただきました。そして思ったことは50年以上住んでいて、五日市町側には幼子を安全に遊ばせることのできる公園らしい公園が1カ所ありません。駅前にできるのかなと期待したのですが…。これでは若い方々に定住を進めようとは思いません。ちょっと離れたところに川があるよ、魚がいるよ、といわれても日々落ち着いて安全、安心に生活できるかどうかが本当に大切なのです。</p> <p>年に多くて数回来るかどうかの観光客を1番にもってくる（計画の）つまり市民を本当に大切に考え方の中心に置こうとしない中嶋市長の姿勢にはガッカリです。五日市在の方々は本当にこれで良いのでしょうか。</p> <p>市民団体から意見が出ていてある団体は観光客の方々にアンケートされたとかとても良いことだと思いますが、もっともっと市民に対してははっきりと大きく広報し説明を開催し、春夏秋冬観光客のアンケート実施など時間をかけて資金が無駄にならない様努めて欲しいと思います。</p>	<p>五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p> <p>市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面でも、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
134	<p>最近五日市駅近くに越してきた人（若者）の声です。五日市駅を一步離れると店は無く（夜は閉まる）暗くて寂しいので出歩けない。食料品は近くのスーパーで買えるが他の欲しい物は買えない。特に洋服、本、文具等。早く免許（車）を取り遠くに出かけたい。</p> <p>これを聞いて若者に魅力無い街五日市なのだと改めて思いました。市有地活用は是非今住んでいる市民、そして越してきた人達に「来て良かった！」と思える施設をつくって欲しいと思います。暑い日、寒い日、雨の日も誰もが安心して楽しくすごせる場所にして（買い物、レジャー、休憩）いただきたいと思います。五日市の特産品等皆で発信しましょう。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
135	<p>1 市民に意見を求めているが、市の具体的な計画の中身がほとんど示されていません、市役所、公民館、図書館、ホームページで閲覧できるそうですが、ホームページを閲覧したが素人の小生には膨大な資料を読んで理解するだけの能力も知識もありません、もう少し丁寧な公報があってもいいのではないのでは。</p> <p>2 五日市の貴重な財産「五日市憲法」「化石」などに気軽に触れられる展示ができる常設スペースをぜひ作ってください。</p> <p>3 駅前にこのような施設ができると、人の流れが駅周辺に集中し五日市の旧市街地がますます寂れることが懸念されます、五日市の活性化との両立を視野に入れた施策をお願いします。</p> <p>例えば電動自転車を無料でレンタルして五日市の街を散策してもらい、（観光案パンフレットもつけて）</p> <p>4 資料の17ページを見ると五日市線の利用者が平成22年から令和元年で全ての駅で減少しています、五日市線が昼間の運行本数が一時間2本に減ったためと思われます。あきる野市としても近隣町村と協力して、公共交通の充実のために力を入れていただきたいと思いますが、これから高齢化社会に突入するので切実な問題です。</p> <p>以上4点思いつくままに意見を述べました、検討をお願いします。</p>	<p>1につきましては、市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>2につきましては、五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p> <p>3につきましては、市有地の活用に当たり、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所にしていきます。こうしたことを通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>※ 武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）と直接関わらないご意見につきましては、市の考え方の明示は控えさせていただきます。</p>
136	<p>賛成です。今の駅を作った時は、色々な計画がありました。合弁もあったので、計画が止り、せっかく駅前に大きな土地を確保したのに残念です。地域が活性し、若者が住む町のために、活用計画を進めて下さい。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、秋川流域で地域活性化の取組等を行っている様々な団体、事業者・観光事業者などと連携したイベント等を通じて、秋川流域の活性化につなげる場所にしていきます。</p>
137	<p>賛成です。早く施設を作って五日市の活性化に寄与させましょう。</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面でも、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
138	賛成です。駅前なのに何も無いと言われる事があります。観光客だけでなく、地元の人もくり返し楽しめる施設を作り五日市を活性化して下さい。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p>
139	賛成です。早く施設を作って五日市の活性化に寄与させましょう。	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
140	賛成です。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
141	観光拠点として、五日市憲法、黒八丈、多摩材を使った展示施設や観光客や市民が「憩い場」としての施設を作して下さい。公園や日かげが少ない五日市なので、子供達が安心してあそべる施設も作ってほしいです。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
142	賛成です。	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
143	パークアンドライドの利用者の為の駐車スペースは必要。 JRを利用する観光客の為のシャワールーム 着替えスペース・トイレの設置 電車の発着間隔が長いのを逆に利用する 多摩産材を利用した木製の建物（解体も楽） JRの乗降口に直結 災害時帰宅困難者に対する水、食料の備蓄 フードコート（地元店出店）オープンスペース	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。また、駐車場機能では、地域住民及び交流人口用の100台程度が収容できる駐車場機能を残す予定です。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所や、秋川流域で地域活性化の取組等を行っている様々な団体、事業者・観光事業者などと連携したイベント等を通じて、秋川流域の活性化につなげる場所にしていきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
144	賛成です。早い施設と町の活性化に寄与願います。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。
145	賛成です。早く施設を作って五日市の活性化に寄与させましょう	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。
146	賛成です。早く施設を作って五日市の活性化に寄与させましょう	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。
147	賛成です。地域の意見を取り入れ早く施設を作って五日市を活性化をしましょう。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。
148	賛成です。地域の意見を取り入れ早く施設を作って五日市を活性化しましょう。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。
149	賛成です。地域の意見を取り入れ早く施設を作って五日市を活性化しましょう。	市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
150	<p>1 そもそもの話 このあきる野市は、奥多摩町と青梅市に次いで奥深い河川と歩きやすい山岳地を有しています。また八王子市は、高尾山一つだけで、圧倒的な観光収入を得ています。 高速道インターが有るのも、青梅、八王子、あきる野は同格です。さらに申せば、鉄道の終点ターミナル駅を持つことは、奥多摩、高尾、五日市駅が同じです。にもかかわらず、ガクンと見劣りするの、五日市駅周辺の「welcome観（感）」の無さであります。 駅そのものは、はるか以前に堂々たる構築に成っているのですから、地元のパワーが足りないのは一目瞭然です。 そこへもってきて、駅前一等地に活用度の低い市有地があったとは驚きです。過去の市長さん達はいったいどこにお眼めが付いていたのでしょうか！？</p> <p>2 活用内容（案） ドカーンと目を引く三階建て以上の「観光案内所ビル」を建てて下さい。 ・補足（大切なポイント） ①ここは“秩父・多摩・甲斐国立公園”の秋川口であることを市民のみんなが再認識しましょう。（この自覚のない人が何と多いことか！） （参考）②青梅駅、御嶽駅、奥多摩駅にはすぐ目につく「観光案内所」があります。 （参考）③尚、奥多摩駅の公共トイレは、新しくはありませんが、その清潔さ、掃除の仕上り方、利用者がきれいに使わざるを得ないしかけあり 奥多摩町は、町内10ヶ所程の公共トイレをすべて都内一番清潔度の高いものにする由 ④3～4台停められる無料駐車スペースを建屋の脇に設けて下さい。 私は友人を五日市駅に出迎えるためバスターミナルの中でパカパカ点灯しながら10分程まっていたら、おまわりさんに「すぐたちのくよう注意されました」ソバに交番が有るのに気付かなかった。駅周辺に少しだけ（5分位）安心して停めておける場所（有料はあります）がまったく無い！ ⑤館内は登山グループや観光ボランティアの人達がミーティングする部屋を一つ設けてください。 ⑥檜原村はいわゆる“移住”活動を積極的に行っています。隣り村ですが、ここは一つ腹を大きくし担当者が活動出来る机1～2ヶ分のフロアーを貸してやって下さい ⑦駅舎を出たとたんすぐ目につく“観光案内所看板”を二方向に設置して下さい（むろんクルマで来られる人達にも） ⑧仏作って魂い入れずとならぬよう、駅員、バス会社職員、おまわりさん達にも来ていただく人は、すべてお客様!という意識を市として啓もうして下さい（この広大なる大自然をもっともっと観光事業化しないで、他に何があると云うのか） ⑨ようこそあきる野市へ、ようこそ秋川溪谷へとか、又のおいでを市民一同おまち申しあげますとかそういう看板を出して下さい。 ・日の出町はイオンとインターの間に建て看板があります。 ⑩ややムリかも知れませんが、拝島駅の構内に「秋川溪谷方面乗り替駅」とか出来たらいいな。市内の東秋留、秋川、引田、増戸、五日市の5駅に共通観光PR看板設置出来ないものか。 ・もう一つ気になるのは駅前土地の京王バス占有分が広すぎではありませんか。</p>	<p>1 について 市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p> <p>2 について ①～③につきまして、市有地の活用に当たり、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所にしていきます。 ④につきまして、現状では、無料の駐車スペースを設置することは難しいと考えております。 ⑤につきまして、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースをイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 ⑥施設の管理運営については、今後、検討していきます。 ⑦～⑩につきましては、今後、施設の設計等において検討していきます。 「武蔵五日市駅前土地における京王バスの占有分」につきましては、「武蔵五日市駅前において、西東京バスが使用している土地が多い」との趣旨であると理解し回答させていただきます。武蔵五日市駅前におきましては、西東京バス株式会社様が公共交通を円滑に運営するために必要なスペースを占有していると理解しています。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
151	<p>1. はじめに 私は7月7日の環境建設委員会を傍聴する機会を得ました。そこで企画政策課長の提案報告、市議会議員との質疑応答などを聞きました。傍聴の前に議会事務局から閲覧用の「武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)」(以後「活用計画」と記す)をお借りして傍聴しましたが、予備知識がないので質疑応答の内容を十分に理解できませんでした。委員会が終わり、8月7日を期限にパブリックコメントを実施するとの事でしたので、帰り際に勉強したいので「活用計画」を暫くお借りしたいと申し上げたところ、ここで閲覧は自由だが貸し出しはできない、有料でコピーならできるとのことでした。急いでいたのでいったんは帰宅をして、午後に改めてコピーに何う約束をして、午後にコピーをさせていただきました。</p> <p>7月15日に広報を見て、資料1～5までがインターネットで見られることを知り、ダウンロードしました。相当の分量になり、これらを読んで8月7日までにパブリックコメントを書くことは無理だと感じました。何故ならば、雑用の多い毎日を送っていますので、これらの資料を短時間に読み込んで、コメントを書く暇も能力もありません。</p> <p>8月7日締め切りは私には酷ではないかと思いましたが何とか仕上げました。素直に多くの市民の方が応じていらっしゃるとはとても思えません。</p> <p>2. 計画案全般について 「活用計画」の前文(はじめに)と第1章で駅前市有地の現在に至るまでの経緯が述べられています。これを要約すると次のようになります。</p> <p>駅前市有地については、今から31年前に遡り、五日市町が取得し、東京都の補助制度を活用した「秋川流域総合センター」として運用することが、あきる野市、檜原村、日の出町で合意されていました。その後、25年前の1998年には、社会経済情勢の変化を理由に広域施設整備の当分の延期が決まり、それから13年が経過して、2011年に武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書(以後「検討結果報告書」と記す)が出されました。更にその3年後2014年に首都大学東京の提言へとつながり、そして9年前2014年に「民活」による市有地活用の公募を決めました。応募が1社のみで、それも後になって辞退となりました。駅前広場を挟んで西東京バスとの土地の交換交渉も痺立せず現在に至っています。</p> <p>以上の経過から、いろいろあったとしても、駅前市有地の活用は30年以上も据え置かれていたもので、大きな動きがなかったことは経過からも明らかです。</p> <p>さて、そのうえで7月7日の建設委員会で決まった「活用計画」について私の意見を述べます。</p> <p>① 駅前市有地活用の周知もせずに、突然この時期に計画を決定しなければならぬ大義名分が判りません。駅前市有地活用について、多くの市民から要望やアイデアを出して貰い、その結果を統合して計画を立てるべきと考えます。</p> <p>② 計画作成に当たっては、市民間の合意形成が必要と考えます。経過を見れば合意が形成されているとは思えません。市が合意形成をしたと考えるならその説明をしてください。</p> <p>③ 「活用計画」には、駅前市有地に建物を建てたり、木を植えたりする事も記載されていますが、急ぐ必要はないと考えます。急いで活用計画を決定し、僅か3週間のパブリックコメントで建設に取り掛かろうとする理由が理解できません。この事の丁寧な説明を求めます。</p> <p>④ 環境建設委員会に「活用計画」の規模と予算を示さず、1回の提案と説明で決定しましたが、予算を伴わない計画などあり得ないと考えます。建設委員会は、いったい何を決めたのか市側の回答を求めます。</p> <p>⑤ 駅前市有地の利用については、市民の間に多様な考えや意見が存する应考虑です。今回決めた計画は、突然かつ拙速であり、市民の多様な考えや意見を反映させたものとは思えません。反映させたのであればその内容を示してください。</p> <p>⑥ 以上の事から、パブリックコメント終了後に、市民に対し説明会や直接意見を聞く公聴会などを計画・開催し、その結果を「活用計画」の修正・補足に利用して頂きたいと考えます。</p> <p>3. 計画の取りまとめについて 「活用計画」第2章の、本計画の取りまとめフローを見ると、駅前市有地の活用のあり方、その基本理念として『秋川流域の地域資源を発信する観光交流拠点』と大きな活字で書かれています。このことの意味は、五日市の駅前に作る施設は、秋川流域(五日市)の特徴・特質・資源を発信する観光拠点となるもので、どこにでもある普通の駅前施設とは違い、特別な駅前施設だという誇りに基づいて、普通の駅前施設との差別化を強調した理念と解すべきと考えます。</p> <p>今回持ち出されているこの理念は、2011年の「検討結果報告書」からの援用で、そのこと自体には異論はありません。しかし、取りまとめフローによれば、今回の「活用計画」は「武蔵五日市駅利用者や懇談会での意見・意向、上位計画における武蔵五日市駅のあり方などに最も適合するものとして、「検討結果報告書」のケース1『観光振興プラザ案』を選択」したと述べられています。しかし、「活用計画」作成に当たって、その根拠となっている五日市駅利用者調査や懇談会がいっつ行われたのかは記載がなく、その事自体をにわかに信用できません。しかし百歩譲って信用したとしても、8ページの表で赤い枠で囲まれたケース1の内容を詳細に覧ると、基本理念に基づく地域の誇りは殆ど感じられません。これでは、何処にでもある普通の道の駅的な駅前プラザと言われても致し方ありません。あえて地域資源の発信と言え、ランナーズ&サイクリストステーションぐらいだと思います。しかし駅前には既に“裏山ベース”が店を張っているので競合の恐れがあり、どのように棲み分けるのか丁寧な話し合いが必要だと思います。</p> <p>私は駅前施設を建設するのであれば、「秋川流域の地域資源を発信する観光交流拠点」と言う基本理念をお題目のように唱えるのではなく、「活用計画」にきちんとそのことを盛り込むべきと考えます。そうだとすれば、「活用計画」34ページに記載されている“駅前から五日市の魅力を発信する会”が述べている内容は、極めて時宜にかなった提案として傾聴に値するものと考えます。</p> <p>五日市憲法草案と古生代から現在まで7つの地層が複雑に入り込んだ化石の宝庫は、これからでも“ケース1”の中に位置づけることは可能であり、知恵の出し処と考えます。この事は、観光客に高尚かつ知的な満足を与え、いろいろな形で、再び五日市へ訪れる契機を用意することになると思います。この試みは十分、不十分の問題ではなく、先ずは試験的にでも取り掛かることに意義があると思います。</p> <p>結論として、「活用計画」35ページの五日市地域の誇るべき二つの魅力を何らかの形で“ケース1”の中に反映させるべきだと思います。</p>	<p>1について 市としましては、武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)のパブリックコメントの実施に当たりまして、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、本計画(案)の公表方法や意見の提出期間等につきまして、適切に実施しております。</p> <p>2①②⑤⑥について 本計画(案)は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1(武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書)と資料2(武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言)を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。</p> <p>また、市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、本計画(案)を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>2③について 市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p> <p>2④について 先の環境建設委員会における本計画(案)の報告は、あきる野市議会基本条例第15条に基づき実施したものであり、環境建設委員会に所属する委員(議員)の意見を求めたものであります。また、市有地活用に係る予算につきましては、議会における議決を踏まえ、適切に執行していきます。</p> <p>3について 五日市憲法草案や五日市の地質・地形(ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア)につきましては、本計画(案)の基本である資料1(武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書)に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p> <p>4について 本計画(案)の取りまとめに当たりましては、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考にしております。</p> <p>また、五日市憲法草案、五日市地域の地質・地形(ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア)につきましては、3のとおりであります。</p> <p>5について 市有地活用の検討の進め方につきましては、2①②⑤⑥のとおりであります。</p> <p>また、民間事業者のノウハウにつきましては、適切に活用するとともに、地域が主体となる取組につきましては、秋川流域で地域活性化の取組等を行っている様々な団体、事業者・観光事業者などと連携したイベント等を通じて、秋川流域の活性化につなげていきます。五日市の二つの宝につきましては、3のとおりであります。</p> <p>6について 市有地活用の基本理念につきましては、本計画(案)のP38に記載しておりますとおり、地域特性に大きな影響を及ぼすような状況の変化等はありませんでしたが、交流人口・関係人口の創出や移住・定住促進などの人口減少対策の更なる必要性が認められ、また、関係自治体や市民団体の意見などから、市有地を利用する主な対象を、観光客だけでなく、通勤・通学者、地域住民を含む様々な人へと拡大し、従来想定していた情報発信機能を拡充するとともに、市有地を多様な活動や交流、憩いの「場」として位置付ける考え方が確認されました。さらに、SDGsの推進に伴い、Well-beingの概念が注目され、より広い意味の幸福が注目されるようになり、人々は、様々な機会を通じて、肉体的、精神的、社会的に満たされ、自身の人生をより豊かで充実したものとしていくという考え方が広まってきています。これらのことから、市有地において、様々な情報の獲得や提供、多様な人々との交流、イベントへの参加などを通じて、発見や経験、体験、出会いなど、Well-being実現のための糧となるものを得られることを、広い概念での「学習」と捉えて、あきる野市民憲章に掲げられた「活力と創造力に満ちた人間性あふれるまちづくり」の実現を目指し、市有地活用</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
152	<p>4. 活用計画の背景について 「活用計画」の第3章～第6章までは、五日市駅前市有地問題を考える上で、あきる野市の状況変化、上位計画との整合性、コロナ過も含めて社会環境の変化などを考察したもので、これらの考察によって今回の「活用計画」が大きく影響を受けたとは思えません。第7章は、市民団体からの意見として、「五日市まちづくり協議会駅前ワーキンググループ協議報告書」の抜粋と「駅前から五日市の魅力を発信する会」からの要望書の抜粋が掲載されていますが、これらの意見が「活用計画」にどの様に活かされているのかは不明です。だが、「五日市まちづくり協議会駅前ワーキンググループ協議報告書」と「活用計画」との間には、内容において大きな齟齬はないと思われます。問題なのは、「駅前から五日市の魅力を発信する会」の要望書に述べられている事柄は、前にも述べたように知恵の出し方によっては全面的でなくても「活用計画」に盛り込むことは可能と考えます。 「駅前から五日市の魅力を発信する会」が提起している問題は、今回の「活用計画」でも12年前の「検討結果報告書」でも9年前の首都大学東京の「武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言」でも全く触れられていない内容であり、歴史的にも、学問的にも、文化的にも大きな内容を持っている事柄と考えます。そして五日市地域ひいては秋川流域地域の誇りであり、私たち住民のアイデンティティーに関する問題でもあります。その意味で駅前市有地の活用問題にとどまらず、市政の中で大きく位置付けていくことが望まれていると思います。</p> <p>5. 今後の課題への対応について 今回の「活用計画」は「検討結果報告書」を下敷きにして作られているので、「検討結果報告書」の最後で述べられている4課題にどのように対応するのかを第8章で検討して表にまとめられています。そのことへの私の意見を述べます。 第一の課題への対応は、「市有地の活用を可能な限り迅速に進めることとする」とありますが、迅速であっても無定見であってはならないと考えます。 第二の課題への対応は、「民間事業者のノウハウ」崇拝の感が強い感じがします。行政の側が責任と自信を持つべきと考えます。 第三の課題への対応は、地域が主体となる取組を検討と書かれています。これは大事なことと考えます。しかし、地域の顔をした営利団体の餌食にならぬよう、行政が注意を払う必要があると思います。 第四の課題への対応策として、数多くの情報発信や多様な人々との行動の共有・共同の追及は大切だと思います。そうだとすれば、この中に前記の「五日市の二つの宝」も位置づけるとさらに良いものになると考えます。</p> <p>6. 市有地の活用の基本理念など (1) 基本理念について 基本理念が「地域資源を発信、観光、交流拠点」から「活力、想像力、学習の場」--みんなのWell-being--と変わりました。つまり従来の基本理念は、駅前市有地を運営する主体(行政)の心構え、または、目指す目標が基本理念でしたが、今度の基本理念は利用者の心構え、または目指す目標へと変わり、基本理念の大転換といえます。基本理念の大転換を図り、主体が変わるので、それなりの議論が伴わなければ無責任な結果に終わる危険もあります。 (2) 基本方針も変わる 基本理念の変化に伴い4本の基本方針が掲げられています。しかし、この4本の基本方針を読むと、先に基本方針があって、それに合わせて基本理念が作られた感が強いと感じました。つまり、時勢に合わせてWell-beingやSDGsなどを基本方針に盛り込み、主体を行政の意向から市民の要望へと見かけを変え、その事が営利団体の成長に結びつく現代の新自由主義の手法に、駅前市有地が利用されないよう注意を行政が払うことが求められると思います。</p>	<p>に関する基本理念を定めています。また、基本方針は、基本理念を実現するために定めたものです。</p>
	<p>今回の、上記意見募集には多くの疑問を覚えます。2022年9月・市長就任時の所信表明は「市政運営にあたりましては、職員と十分に意見を交わしながら、市内外にまちづくりの考え方や方針をしっかりと発信するとともに、議員の皆様や市民の皆様の意見を真摯に受け止め、合意形成に努めながら、施策事業を進めてまいります。」とあります。さらに、3月広報「あきる野」での市長の施政方針は、五日市駅前市有地活用について「皆様からご意見を頂きながら、具体的な活用方針を検討し、着手してまいります」と表明しています。当然、説明会も開催され市民の意見も取り入れると思いい、「声を届けよう」と集いや観光客向けのシール投票などを行ってきました。 しかし、7月の広報「あきる野」では、すでに「武蔵五日市駅前市有地活用計画」(案)としてできており、それに対する「意見」を「募集」、計画(案)は市役所、五日市出張所、中央公民館、各図書館、市ホームページで閲覧をとしています。このようなやり方は、所信表明や施政方針に反するものではないでしょうか。さらに、連日「外出は控えるように」との市からのアナウンスの中、「閲覧」のためにはその警告も無視してもかまわないという乱暴なやり方に憤りさえ覚えます。このような姿勢は、7月7日の環境建設委員会で計画の規模や予算も示さず、「案」だけの承認を取り付け、満足な質疑応答もせず予算は9月の議会で補正を組むという、そこに市民の意見を聞くという姿勢は全く見えません。 所信表明や施政方針は市長の市民に対する公約です。市長の公約に対し仮にどのような妨害があっても守るべきものではないでしょうか。 市民説明会の開催を要求します。そこで、丁寧に説明をして下さい。計画に対して市民の意見を聞いて計画に取り入れてください。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1(武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書)と資料2(武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言)を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。 「連日「外出は控えるように」との市のアナウンスがあったとのご意見につきましては、東京都に熱中症警戒アラートが発表された際に、市が熱中症の注意喚起をしたことを示していると理解しましたが、パブリックコメントは、市ホームページから資料の閲覧等ができ、ファックスや電子メール等で意見の提出ができること、閲覧場所である中央図書館は20時まで開館していることから、ご理解をいただきますようお願いいたします。 市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
153	<p>1, 市民に説明をしてから意見を募集すべきです。 7月15日の「広報」に、8月7日締め切りで「五日市駅前活用計画(案)」に対する市民の意見の募集が載りました。こんな計画があることも知らない市民は、広報を見ただけで意見など書けません。「市民の声を聴いて…」と言った所信表明とは違い、今回は拙速すぎます。 少なくとも「市民説明会」を開いてください。</p> <p>2, 五日市の世界に誇れる二つの宝を発信するために 自然史博物館や五日市憲法草案資料館の設置を 渋谷が村だった頃に、すでに町だった五日市には独特の歴史と文化があります。 美智子上皇后が「文化遺産に…」と絶賛し、教科書にも載っている「五日市憲法草案」は、五日市だけのものです。今は五日市警察署の裏の郷土館にありますが、あそこに足を運ぶ観光客はいないでしょう。 駅前に資料館でもあれば、観光客も入るでしょう。 もう一つは、世界に誇れる自然史の宝庫という事です。世界で七体しか発見されていない化石の、その七つ目を発見したのは増戸中学の生徒です。化石や地層や土器等は陳列して見せるだけでなくそのフィールドが重要です。 自然史博物館や資料館など、駅近くに設置して下さい。 蛇足ですが、合併前に自然史博物館設置について、都で予算が計上されましたが、合併で消えてしまいました。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。 五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）で記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。 市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
154	<p>○外観は「東京のふるさと」というキャッチフレーズにふさわしく、威圧感の無い、温かいぬくもりが感じられるレトロな様式のもの。周囲の山々と一体感があるもの。 ○内容はアンケートで様々な意見がありますが、近所のお店と競合する様なものは避ける事。今ある地域のお店が立ち行かなくなったりする様な事は絶対あってはならない。設計段階で良く話し合う。 ○他地域には無いもので“絶対欠かす事が”出来ない展示。 ・世間に良く知られており市の誇りである五日市憲法関係 ・自然史関係（化石、地質等） 形ばかりの展示ではなく観た人の印象に残る様な展示の仕方。 ○設計施工業者は、あきる野で営業実績のある業者の中から公正な方法で選ぶ。 市有地であり、市の施設であるならば、色々な面で地域の活性化に貢献するものであってほしい。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地に整備する施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。また、設計施工業者につきましては、適切に選定していきます。 五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）で記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。 市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
155	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)について、環境委員会で報告されたものの住民への説明がなされないままパブリックコメントの募集に至ったことに憤りを覚えます。その理由として、計画(案)は、策定前に市民への説明を行い、広く市民の声を聞いた上で出されるものであると考えるからです。 7月15日付けの広報にパブリックコメント募集が出されていますが、その計画案について説明されていない市民には、資料の閲覧期間の短さもあり、ご意見をと提示されても十分な判断ができるはずがありません。実際広報でパブリックコメントの募集を見ていない人は、そんなの知らないよと、そんな方々がいる中での計画を進めるべきではないと考えます。丁寧に時間を掛けて、市民と説明会で意見交換をしながら勧めていく事で、より良い計画案ができるものと思います。秋川と五日市町が合併する前に、五日市駅前の開発については、町民全体での取り組みがあったと聞いています。今こそその時のように、あきる野市全体のものとしてアンケートを実施したり市民との意見交換をすべきです。市政30年に慌てて合わせるのではなく、あせらずじっくり時間を掛けてより良い計画案になるようにしていただきたい。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。 市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
156	<p>1. 武蔵五日市駅前市有地は、五日市と檜原村の重要な課題解決のために有効活用すべき 西東京バス駅前事務所のある留置場と商店街中心地にある給油所の2箇所の施設は、下記の理由により駅前市有地東側の約半分の土地と交換し移転させ、その跡地をまちづくりに重要な課題である観光や駐車場の整備等に有効活用すべきです。 なお今回の市の計画案は、タウンマネージャーの支援によるところが大きいのと思われませんが、支援計画のまとめは令和4年1月であり、市が令和4年4月から取り組んでいる国土強靱化計画のまちづくりに影響するリスクが考慮されていないと思われます。空き家問題も緊急避難場所や物資拠点整備等にも使用できるかの検討が必要ではないでしょうか。 駅前市有地活用計画は、まちづくりの安全を確保することを最優先に検討されるべきと考えます。 理由その1 西東京バスの駅前事務所のある留置場と商店街中心地にある給油所の2箇所について、バスは駅前広場で客の降車後に、その2箇所に行き来する運行は、営業運行以外のものであり回数も多く、檜原街道が渋滞する大きな要因となっています。 理由その2 西東京バスの商店街中心にある給油所は、消防法の危険物取扱所となっており懸垂式給油設備が屋根下に設置してあり、屋根は檜原街道拡幅に伴い整備されたもので40年程度経過しています。柱は2本で構造上のバランスが悪く基礎部分に大きな負担がかかるものとなっており、その基礎コンクリートの経年劣化がどのように進んでいるか、また旧耐震基準であるか否かの懸念と併せて、前面には檜原街道があり東京都指定の緊急輸送道路(檜原村役場まで)となっています。 市が重要事項としている国土強靱化計画を踏まえると、この給油所は最悪の場合倒壊する可能性があり火災発生等の大きなリスクになることが考えられます。 究極の防災対策は脆弱な要素を無くすことです！ この観点から給油所は、最も影響が少ない場所に移転する必要があります。</p> <p>土地交換により、西東京バス2箇所の跡地を市が使用することは、従来のまちづくり計画の課題を解決する大きな効果があります。西東京バスの駅前事務所のある留置場は、市が今回計画する立地に比べ駅入口からの距離が約半分になり利用効率が上がります。給油所跡地は商店街中心地にあり要望されてきた駐車場等の整備が可能となります。</p>	<p>西東京バス社有地と武蔵五日市駅前市有地との土地交換につきましては、市有地活用の方策の一つとして、西東京バス株式会社様と市との間で協議・調整を重ねてきましたが、実現には至らず、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）の作成に至っております。 また、市有地活用に係る予算につきましては、議会における議決を踏まえ、適切に執行していきます。</p> <p>※ 武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）と直接関わらないご意見につきましては、市の考え方の明示は控させていただきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
	<p>2. 駅前市有地活用の予算は、市民が以前から困り続け要望している事柄に優先して使うべき【東秋留駅自由通路の整備を早期にすべき】 東秋留駅の利用者は、2021年度で約7500人で南北横断通行者を加えると更に多くの人が毎日危険な踏切2箇所を横断している状況です。また20年前には約2万人の署名があったにもかかわらず未だに整備されていません。【秋川駅自由通路はバリアフリー法を遵守した完全な整備を早期にすべき】 秋川駅自由通路の階段や手摺り等は適法な整備がされておらず、階段を踏み外して怪我をした事例が多数あり早急に整備すべきです。 一方、市は令和5年度の市政方針で令和7年度に向けて「市政30周年及び五日市線100周年の記念事業の検討を進める」としていますが、上記の五日市線の利用に関する大きな問題を残したままの状況で市民は祝う気持ちになるでしょうか。 五日市線を支えているのは駅の利用者の市民です。その利用者の安全を守る整備は武蔵五日市駅前市有地活用よりも優先的にしかも早期に行うべきです。</p>	
157	<p>結論 今回の市の計画の進め方、計画内容には下記のような3つの重大な問題があると考えます。議会で決める前に、市民に対して説明会を行うことを求めます。</p> <p>第一に、市民の意見を聴く姿勢に欠けています 計画がある事自体が、ほとんどの市民に対して実質的には知らされていない状態であるのに、突然7月15日付市報に小さな案内を載せて意見募集を形ばかり行い、すぐさま秋の議会で決めてしまうというのは、市民を無視しているあまりにも乱暴なやり方です。市民は市報を毎号必ず隅から隅まで丁寧に読んでいたとは限りません。計画があることを市民に周知させるには、市役所・出張所、公民館・図書館などに早期に掲示したり、繰り返し予告案内のお知らせを配布するなどすることが必要です。市は、そのような努力を一切行っていません。 意見を出したとしても、9月議会前に市民の意見を取り入れて計画を修正する時間があるのでしょうか？このような市民無視の態度は、計画の内容以前の重大問題です。</p> <p>第二に、市の「活用計画」の作成過程と内容に疑問があります。 市の「活用計画」は市外部の任意団体の提案をもとにしており、辻議員から指摘されているようです。この団体は観光業者、運送業者および不動産業者などで構成され、一般市民はいないようです（市の資料4）。この会の会合に市長も参加しているのでしょうか？市長はこの団体とどのような関係があるのでしょうか？利益相反のような関係はないのでしょうか？ご説明ください。 計画は一言でいえば、観光業を援助する事業ということになると思われまます。計画書は本文9章に五つの資料からなり42ページにわたり社会環境変化などの統計など様々な説明があるのですが、具体的に何をやるのか不明確です。最後42ページに施設の機能配置イメージが示されていますが、要するに駅前駐車場の半分を空けて小さな小屋（木造平屋建て？）と広場を作る程度のことしか考えられていないようです。そしてその管理は特定の指定業者に委ねる計画のようです。計画書に長々と統計・図表など（古いデータが多く、真剣さが感じられないが）の説明した結論としての建設計画には全くなっていない、奇妙な計画書になっています。「とにかく観光業の利益になるように場所をあげ、ちょっと建物も作る」、「古い統計図表などをいれて計画書の体裁を作った」と言ったら酷評にすぎないでしょうか？</p> <p>第三に、極めて急ぐことに不透明感を拭うことができません 計画が漫然としているのに、9月議会で予算を決定し、設計を発注し、2年足らずのうちに完成させようとする計画のようです。なんでそんなに大慌てに異常なスピードで進めなければいけないのか、異常に急ぐがなければならないほど重要な計画であるのか？不透明感を拭うことができません。市長はいったん立ち止まって急ぐ理由を説明し、「合意形成に努めて」ください。</p> <p>最後に 杜撰な内容で実行しては、市民の財産及び税金が無駄になります。五日市町には歴史と文化の伝統があります。美智子妃も評価された五日市憲法、明治初期に医療に献身した萩原タケなど「郷土の誇り」があります。世界でも稀な化石を産出する地層を持ち、豊かな自然を持つ五日市ならではの特徴(宝)を活かす「差別化」された計画が求められます。また、自然災害が激しい昨今では、災害対策など安心して市民生活を送れるようにすることにこそ市の財産と税金を使うべきであると考えます。 市営住宅跡地など旧五日市町民の財産はあきる野市の赤字解消のため売却されてきました。武蔵五日市駅前市有地は残された最後の財産といえるものです。市民本位の活用をする計画を策定されるようお願いいたします。</p>	<p>第一のご意見につきまして、市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。 第二のご意見につきまして、本計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。 第三のご意見につきまして、市にとって、市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつなげられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。 最後のご意見につきまして、五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンシス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。 市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。 また、市有地活用に係る予算につきましては、議会における議決を踏まえ、適切に執行してまいります。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
158	<p>市長の「着手したい」といった意向であれば納得もするが、「着手していく」「取組を進めていく」では、市長の独裁による市政運営に他ならない。着手以前に、市議会での徹底した議論や住民への周知が必須。この計画は白紙撤回すべきと考える。</p> <p>① 二元代表制・住民参画の理念から逸脱している 施政方針演説（2/17）➡6月定例最終日活用計画案提出（6/22）➡9月定例初日計画報告 このスケジュールを見る限り、市議会や住民間での議論の機会を奪う（＝反対意見を受け付けない）といった恣意的なものを感じる。市長派市議（自民党志清会・公明党）には内部通告があったかどうか判らないが、その他の会派市議にとっては6/22が「初耳」だった模様。 環境建設委員会（7/7）パブリックコメント実施（7/16～）は、とりあえず議会に諮った、住民の意見を聴いた程度の形式的なものに過ぎない。あきる野市はパブリックコメントに関する「市条例」もなく、実行ありきの計画が進行している時点で意見を求められても、住民は困惑と無力感を抱くだけ。住民説明会も理由もなく拒否された。</p> <p>② 計画が拙速・ズサン ・「JR 五日市線創業 100 周年・あきる野市制 30 周年」にあたる 2025年4月運営開始。2023.9月から計画が進められたとして1年半。あまりにも短期間での取組であり、活用の「実」が伴うのか疑問。創業 100 周年・市制 30 周年に合わせたスケジュールと思われても仕方なく、それでは「なぜそこに合わせるのか」については、様々な憶測を呼んでいる。 ・「2011 武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書」と「2014 武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言」をベースとし、今回の計画案が作成されたという。あきる野市の環境・情勢等変化しているにも拘わらず新規に調査をせず、昔の資料を基に事業計画を展開しようとするのは無謀としか言いようがない。</p> <p>③ 特定の事業者都合のいい事業になるのではないかな？ ・市民団体として提案を行った（後に意見をしたと修正）五日市まちづくり協議会。 多くの方がイメージする市民団体って？ まあどう名乗ろうと勝手であるが、五日市まちづくり協議会は地元の有力者が中心となって構成されている団体。商業者・不動産事業者・地域活動団体 etc. 要は五日市地区の事業主が主なメンバーで、市長が議員時代から深くかかわっている団体でもあり、今回の計画に唯一「提案者」として参入している。住民に周知されていない時点で、この「市民団体」だけに特権が与えられたとしか言いようがなく公平性を欠く。彼らにとって都合のいい事業となるのか・・・？ 行政と事業者との癒着を疑ってしまう。 ・それともう一つの疑念。いずれにせよ、住民の財産や税金が、特定の団体の「儲け」になってはならない。</p>	<p>①につきまして、市としましては、武蔵五日市駅前市有地活用に当たっての議会への報告、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）のパブリックコメントの実施に伴う市議会常任委員会への報告、予算案の市議会への提出や審議を経て、市有地の活用を進めております。</p> <p>②③につきまして、本計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。</p>
159	<p>【意見1】 ■秋川流域の未来に活かされる場づくりを あきる野市を超えた広がりの中で実現を 30年前に溯って「秋川流域の市町村が共同で使用できる『（仮）秋川流域総合センター』」として、今回の計画案の土地が取得されたというのは、計画に本質的で示唆的なことではないでしょうか。SDGsとエコロジーの潮流からも、「流域」という条件を大切にす地域社会へと進むのは自明のことで、30年前に「秋川流域」を掲げたのは大きな先見性でした。 そして「秋川流域」と、計画の地域と立地特性からも、あきる野市に留まらず、日の出町、檜原村との連携と共働を視野に入れた活用の広がりが、この計画案の価値と評価を高めることは間違いありません。 地域の住人として、地域のイベント主催事業者として、この活用計画は他人事ではなく、今回の計画案から、秋川流域の未来が広がる地域に役立つ場の実現を願っています</p> <p>【意見2】 ■より幅広く、日の出町、檜原村の地域の皆さんと共に 十分な対話と、情報公開を大切にしてください。</p> <p>正直、今回の計画案に一部の地域事業者の皆さん、行政と開発関係者のクローズドな会議の場で進んできた印象はあります。一方で関係者皆さんが計画を進めてきた努力に敬意を表し、その妥当性に一定の納得があることも前提です。 評価されて良い計画案だからこそ、より幅広い地域の皆さんとの十分な対話と、情報公開を大切にさせていただきたいと思います。 今回の計画案が発表されてから、多くの反響を聞きます。 周辺事業者からの「無念」との声、辻よし子市議会議員からの「急ピッチで強引に進む」との評価。私自身も日常的に武蔵五日市駅を使い、その地域に暮らし仕事もしていますが、たしかにオープンな形で計画の進行の情報に触れることはつい最近までありませんでした。 計画案には、予算と財政負担についてまったく記載がなく、一方で2年足らずのうちに建設まで終わらせるスケジュールとの情報もあり、近年の市民の場づくりで広く大切にされる対話と情報公開について、おざなりではないか心配です。 また前章でも触れたとおり、計画の起点「秋川流域」と社会の趨勢から、日の出町、檜原村の皆さんとの対話、情報交換などがあってしかるべきですが、計画案では本当に最小限でしか触れられておらず、大きな不足を感じます。 より幅広く、日の出町、檜原村の地域の皆さんと共に十分な対話と、情報公開を大切にしてください。</p>	<p>意見1、2につきまして、武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。 また、市有地活用に係る予算につきましては、議会における議決を踏まえ、適切に執行してまいります。 日の出町及び檜原村には、市有地活用に関する情報を逐次提供するとともに、両町村と、施設の管理運営等について調整してまいります。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
160	<p>①武蔵五日市駅前市有地活用については、市民の意見が広く反映できるよう公募による「検討委員会」や「公聴会」などを開催すること要望します。 急いで決めているように感じますが、もっと時間をかけ、もっと多くの市民と話し合いながら決めるべきです。</p> <p>②もし武蔵五日市駅前市有地を活用するとしたら、五日市憲法記念館や自然史博物館などの複合文化施設の建設を希望します。再開発によってどの駅前も同じような風景になっているなど普段から感じています。 五日市の自然を活かした外観、歴史や文化を発信できる五日市らしい施設の建設を希望します。</p>	<p>①につきまして、市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。 なお、本計画の説明会の開催は予定していません。 ②につきまして、五日市憲法草案や五日市の地質・地形（ステゴドン・ミエンス、パレオパラドキシア）につきましては、本計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。 市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p>
161	<p>五日市駅前開発は、まさに五日市の顔となる重要な位置付けとなります。 一番大事なのは、機能性、色合い、材質等の総合的な「デザイン」です。 今の駅舎のようではなく、五日市らしい雰囲気のある建造物であってほしいです。 デザインを公募し、市民投票によって決める方法だと、素晴らしいデザインが多く集まり、市民の関心も高まる良い方法だと考えます。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地に整備する施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p>
162	<p>率直に言って、 近隣町村含む一般市民が使う駅、そこにできる施設のことをごく一部の人の間で決めるんですね、と思いました 都から補助金の目的を達成するよう催促されているから昔の計画をベースにここ10年程の間に自力で駅前で実績を挙げてこられた方や駅から遠いなりに駅を利用される方を取り込んで事業をしてこられた方 昔からこの地で事業をされてる方などの功績をすっ飛ばしてこれ以上催促されないように市制30周年イベントと一緒に方を付ければ格好がつくしなにかやっつけようとしているように見えてしまいます</p> <p>武蔵五日市駅を拠点とする観光は市長がお好きなかつ全国に誇れる釣りははじめたくさん種類があると思います なぜサイクリスト、ランナー、ハイカーを対象とした個別昨日だけが取り上げられるのか、謎です また外注なしで全て市が運営するとしたらそれも時代にそぐわないように思います もっと様々な立場からの意見を集めて計画案を一から作り直す方がいいもの、納得してもらえるもの、が誕生するように思います</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。 また、市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容や運営管理につきましては、今後、検討していきます。</p>
163	<p>早く施設を作り五日市の活性化に寄与させて下さい。</p>	<p>市にとって、武蔵五日市駅前市有地の活用は、長年にわたる課題であること、市長の所信表明や令和5年度施政方針に呼応するように、市民団体から活用を望む声や、活用に関する提案、意見が寄せられたこと、社会情勢の面で見ても、今後、人流が戻り、観光需要が増大する中で、コロナ禍におけるミニマムツーリズムにおいて注目を集めた秋川流域に多くの方が訪れる可能性があること、このことが人口が減少傾向である秋川流域において、交流人口や関係人口の増加、定住人口の増加へとつながられるチャンスと考えられることから、この機を逃さず、可能な限り迅速に、市有地活用の取組を進めたいと考えております。</p>
164	<p>秋川渓谷の玄関口である武蔵五日市駅前で、この地域を訪れる方々にさまざまなサービスを提供し、観光・アクティビティという切り口で、種々の地域課題に取り組んできました。駅前に居場所がなかった武蔵五日市駅前に人が集まれる空間を作り、スポーツ愛好家層に需要の大きなサービスを提供し、また別のサービスによって地域の観光資源を活用して来訪者により良質な観光体験を提供することで、地域のファンを増やしてきました。 今回、市が駅前で（いまさら）やろうとしていることが計画書上こんなに我々の事業と被っているのに、我々には事前の詳細なヒアリングも調査もなく、事前に広く意見を募集したり市民が参加できる形で内容の検討が行われることもなく、寝耳に水の状況で、再開発の実施計画が唐突に示されたことに強い違和感を感じています。 （いつ誰が作った計画なのか、これだけ社会状況が変わり、駅前にはこれまで様々な地域課題に我々が取り組んできたことを知りながら、それがすっばりと抜け落ちたような記述になっています）</p> <p>確かにコロナ中は我々は営業時間を短縮したりサービスを一部縮小したりしましたが、だからといって、同じ駅前で市が施設を作って「交流拠点」を作るなら、事前にしっかり確認してくれてもよいのではないのでしょうか。</p> <p>我々は地域にとって必要だと思うからこそ「地域観光とアウトドアアクティビティの拠点」となる施設を運営してきましたが、我々が「地域のために協力する」と言ったとはいえ、何でもありではないです。理不尽を押し付けられそうになった時、おかしいことはおかしいと、声を上げる権利があります。 こちらは一零細民間事業者がなけなしの自前の資源を投入してやっています。（それこそお金だけでなく時間や体力も） もう少し話し合いや議論をするなど、地域にとっても我々事業者にとっても市民にとっても、一番無駄のない効果的な形を模索してからでも遅くはないのではないのでしょうか？</p> <p>駅前に必要なのは観光施設だけではありません。これから移住を促進しようとするのであれば、市民の生活導線の観点からも、より住みやすい町づくりを目指して考えることは色々あると思います。 せっかく早稲田の学生の優秀なプレゼン報告会などもあったのですから、駅前のプロジェクトこそ、そういう若い発想を取り入れたりコンペを開催したりするなど、開かれた議論と社会実験の場として使った方が意義があるのではと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。 また、市有地は、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所や、秋川流域で地域活性化の取組等を行っている様々な団体、事業者・観光事業者などと連携したイベント等を通じて、秋川流域の活性化につながる場所にしていきます。 市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
	<p>また、今回の計画案をはじめ、最近の武蔵五日市駅周辺での体験・観光・教育・移住といったトピックに関しては、一部の団体や個人の声が不自然に反映されているのではないかという疑念が多くの人から聞こえてきます。今回の再開発計画も、その疑念を感じる人は少なくありません。もしそうではない、とするならば、そういった誤解がないように、広く市民に情報を公開し、まちづくりに多くの市民が参加できるような、仕組みを考えるべきです。</p> <p>やりようによっては地域の魅力を大きく底上げする可能性があるだけに、今回のやり方は無念と言わざるを得ません。</p> <p>施設計画案が我々の知らないところで市から提出されたことも、特に我々としては納得いきませんが、この強引な進め方に関しては、多くの市民が知れば疑問を感じる市民ではないでしょうか。</p> <p>これは、できれば立ち止まって考えるべき案件だと思っています。市民の不信感を内包したまま進むのは、あきる野市にとっても、よくありません。</p> <p>計画案の内容についてだけでなく、民主主義とは、政治的プロセスとはどのようにあるべきなのかを、改めて皆で考えるべきです。多くの市民が我が事として駅前のみまちづくりに参加していく、その機運を作れるチャンスです。</p> <p>秋川渓谷が本当に住み良いまちであるために、風通しの良い議論が必要です。</p> <p>それは、機能的に何か施設や設備ができることよりもよほど重要だと思います。</p>	
165	<p>きちんと市民に対して計画(案)の説明会を行って内容を説明し、公聴会などで意見を集めて欲しいです。</p> <p>多くの市民は認知不足で感心の低い市民も多いと思います。</p> <p>気づいたらいつの間にか出来たということにならないようにもっと周知してください。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>
166	<p>五日市住民です。「五日市駅前市有地活用計画(案)」読みました。この計画の問題点は内容でなく進め方だと思います。この計画は市民に公表されず、知らない住民が多いです。一部の人たちだけで進めている様に感じます。駅前市有地は市民の財産であり、私たちの税金が使われます。まず多くの市民にこの計画を知らせ、説明会を開き、公聴会などで意見を集めてほしいと思います。それらをすっ飛ばして、急に意見を、しかも短期間で募集するやり方は納得いきません。一部の人が早急に計画を進めたいのではと思ってしまいます。そのようなこのパブリックコメントも、市民の意見を聞きましたよという形だけのもので、本当に私たち住民の意見を聞くつもりがあるのかなど疑問に思ってしまう。もし市民の意見を本当に聞くつもりがあるのなら一旦この計画を止めて、ちゃんと市民に向き合う姿勢をとることなのではないでしょうか。一部の人たちではなく、市民の市民による市民のための駅前計画を是非よろしくお願ひいたします。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。</p> <p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>
167	<p>【意見1】 ■秋川流域の未来に活かされる場づくりを あきる野市を超えた広がりの中で実現を 30年前に溯って「秋川流域の市町村が共同で使用できる『（仮）秋川流域総合センター』」として、今回の計画案の土地が取得されたというのは、計画に本質的で示唆的なことではないでしょうか。SDGsとエコロジーの潮流からも、「流域」という条件を大切にす地域社会へと進むのは自明のことで、30年前に「秋川流域」を掲げたのは大きな先見性でした。</p> <p>そして「秋川流域」と、計画の地域と立地特性からも、あきる野市に留まらず、日の出町、檜原村との連携と共働を視野に入れた活用の広がりが、この計画案の価値と評価を高めることは間違いありません。</p> <p>地域の住人として、地域のイベント主催事業者として、この活用計画は他人事ではなく、今回の計画案から、秋川流域の未来が広がる地域に役立つ場の実現を願っています</p> <p>【意見2】 ■より幅広く、日の出町、檜原村の地域の皆さんと共に 十分な対話と、情報公開を大切にしてください。 正直、今回の計画案に一部の地域事業者の皆さん、行政と開発関係者のクローズドな会議の場で進んできた印象はあります。一方で関係者皆さんが計画を進めてきた努力に敬意を表し、その妥当性に一定の納得があることも前提です。</p> <p>評価されて良い計画案だからこそ、より幅広い地域の皆さんとの十分な対話と、情報公開を大切にしていきたいと思ひます。</p> <p>今回の計画案が発表されてから、多くの反響を聞きます。周辺事業者からの「無念」との声、辻よし子市議会議員からの「急ピッチで強引に進む」との評価。私自身も日常的に武蔵五日市駅を使い、その地域に暮らし仕事もしていますが、たしかにオープンな形で計画の進行の情報に触れることはつい最近までありませんでした。</p> <p>計画案には、予算と財政負担についてまったく記載がなく、一方で2年足らずのうちに建設まで終わらせるスケジュールとの情報もあり、近年の市民の場づくりで広く大切にされる対話と情報公開について、おざなりではないか心配です。</p> <p>また前章でも触れたとおり、計画の起点「秋川流域」と社会の趨勢から、日の出町、檜原村の皆さんとの対話、情報交換などがあつてしかるべきですが、計画案では本当に最小限でしか触れられておらず、大きな不足を感じます。</p> <p>より幅広く、日の出町、檜原村の地域の皆さんと共に十分な対話と、情報公開を大切にしてください。</p>	<p>意見1、2につきまして、武蔵五日市駅前市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。</p> <p>また、市有地活用に係る予算につきましては、議会における議決を踏まえ、適切に執行していきます。</p> <p>日の出町及び檜原村には、市有地活用に関する情報を逐次提供するとともに、両町村と、施設の管理運営等について調整していきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
168	<p>25 p 「あきる野市都市計画マスタープラン」観光や生活の交流拠点づくり このマスタープラン自体の発想が今の時流に全くあっていない。今のとりわけ若い人たちは、ネット情報で様々な情報でお得情報も仕入れながら、取捨選択し動く。しかも観光地を回遊するのではなく、点から点に動く。無駄はしたくないのだ。 外国人観光客であっても、情報を調べて五日市をめざしてやってくる。その仕掛けこそ重要であって、それは建物ではない。いかにネット上で心躍る情報を提供できるかが問われているのだと考える。 先日、軽井沢に出かけたが、軽井沢の旧市街であっても、閉めている店が散見された。ところが鬼押し出しハイウェー方面に向かう道路が渋滞しており、何かと思えば、その先に「星野リゾート」があり、若い家族づれが広い敷地の林を散策していた。土地の人の話では、ホテルができてから人の流れが大きく変わったという。 つまり、どういう人を集めたいか、その人たちにひびくコンテンツを五日市、および秋川流域でつくりだせるか、そしてそれをネット展開できるかが問われているのであって、土地に来てから情報を探すことを前提としている建物の建設には反対したい。その程度のことは、駅の情報コーナーや観光協会の案内所で事足りる。 観光発信基地としてコンテンツの練り上げ、情報のネット配信にこそ予算とエネルギーを集中すべきである。</p> <p>33 p 市民団体からの意見 市民団体からの意見がふたつ収められている。ひとつは「五日市まちづくり協議会」の「五日市まちづくり協議会駅前ワーキンググループ」が作成したものであるが、会合としては今年1月から3月までの短期間に3回の検討がなされて出されている。また、もう一つの団体「駅前から五日市の魅力を発信する会」も、4月23日に市民の集いを開催して、6月30日に要望書をまとめて市に提出している。どちらも急ごしらえの感を否めない。五日市地区住人たちの声はどの程度反映されているのか、また、各地で計画の説明会が開かれているのかに疑問を持った。 たとえ、市有の土地で、まだある程度民間の活用を図るといっても（36 p）、建物建設に当たっては、何かしらの市民の税金が投入されることになる。あきる野市全体に広く周知し、意見を募る手順を踏んでいるだろうか。不十分であれば、十分な討議を尽くすべく、事業の延期を提案したい。</p> <p>41 p 導入機能・施設イメージ表 前段で述べたように、情報発信基地としての機能は不要と考える。 集会・交流の場として考えるなら、場所も駅前でなくてもよい。五日市町は幹線道路が商店街を2分して、魅力を損ねている。 集会・交流の場に特化した建物を建設して、商店街を再編成されてはどうか。</p>	<p>P33の市民団体からの意見につきまして、市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>P41の導入機能・施設イメージ表につきまして、市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の商業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>※ 武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）と直接関わらないご意見につきましては、市の考え方の明示は控えさせていただきます。</p>
169	<p>武蔵五日市駅前市有地活用計画(案)に係る意見募集に関して</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公報で見落としていて募集に関して友人から聞いてホームページを見ました。 2. 大変分量の多い計画案と資料が続き、理解に至っていません。 3. 30年前の合併で当時の町が計画していたことが動き出したのはいいと思います。 4. しかし、今回の市の施策については納得できません。なぜなら、このような事業を進めるためには市民の納得と合意が必要と思われる。 5. 意見募集だけで、しかも短期間で、十分な公報もなく実行に移すことは反対です。 6. 市が市民に対して十分な説明を行い、計画立案から市民が参加して計画を練っていく必要があります。 7. この市民参加（参画）ということが当市にはほとんど見られないことも問題です。 8. 今回の企画は市民にとっても大変重要なものであり、進めるにあたっては市民に説明するとともに企画の段階から市民の参加を求め計画を作るよう要望します。 	<p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>
170	<p>五日市は図書館活動が有名です。総合施設に図書館を作ってください。 五日市憲法はわざわざ美智子皇后が見に来るなど大切なあきる野市の財産だと思います。ぜひ総合施設をお願いします。 武蔵五日市駅前の駐車場を市の計画で総合施設に変えようと意見の公募を行っているとは知りません。一度説明会などの企画をお願いしたいと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>五日市憲法草案につきましては、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）の基本である資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）に記載しておりますとおり、秋川流域の地域資源の一つであります。</p> <p>市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所としております。</p> <p>市としましては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは、市の政策形成過程への市民参画の機会を拡充するとともに、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市民に開かれた市政を運営することを目的としております。</p> <p>なお、本計画の説明会の開催は予定しておりません。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
171	<p>【全体に関して】 これまでの武蔵五日市駅前市有地の活用計画の経緯について、その時々で、有用な案や提言のあったことは理解できた。しかしその後、震災や地域の人口減、コロナ禍を経た後、なぜいま再び駅前市有地の活用が必要なのか、その必要性や求める機能などについて、各方面からの意見の集約や調整、目標の設定が不十分だと感じる。このような不十分な検討をもとに、p. 40-42の今後の方針に示されているような多様な機能を持つ施設を駅前に作るというゴールのみが設定されて計画が進んだ場合、観光資源のオーバーユーズ、駅前の車の混雑状況の悪化、施設の運営やイベント実施に関わる地元関係者の不足、既存の事業者との軋轢など、地域の自然環境やコミュニティに及ぼす負の影響が懸念される。</p> <p>①まずは観光客、潜在的な移住希望者、商業関係者、地域住民、観光案内所、各種の観光施設、あきがわ農協、行政施設など、様々な視点からの最新の意見や希望を十分に集約すること ②他の地域で、観光振興・移住促進・住民交流といった複合目的の施設を駅前に作って成功した事例、課題などを集めること これらを勘案して活用計画に反映させ、秋川流域の目指すべき将来像を見据えた現段階での最適解として、どのような施設を作るのが望ましいのか、十分に検討してから活用計画を改めて取りまとめることを強く望む。</p> <p>【個別の検討項目への意見】 p. 25 上位計画における当活用計画の位置づけ に関して 秋川流域の多様で豊かな自然環境や文化は、観光客も住民も共通して認める地域の価値である。 今回建設を予定する建物そのものや、それに起因する交通状況の変化、人の量の変化が、本来の景観を損ねることのないよう、十分に配慮が求められる。</p> <p>p. 26 各自自治体からの意見 に関して どの程度意見を集約したのかが具体的にわからない。武蔵五日市駅を利用する観光客の中には例えば檜原村へ向かう人も多いだろうし、檜原村や日の出町で体験型の観光ツアーを行う事業者もいるだろう。さらに檜原村・日の出町から都内へ通勤通学している駅の利用者も一定数いると思われる。これらの関係者にも十分意見を聞き、ある程度計画に反映させるべきだと考える。</p> <p>p. 36, 37は、2011年3月に発行された「武蔵五日市駅前 市有地活用調査検討結果 報告書」に書かれた内容に基づいていると理解している。 同報告書の中のp. 32-51 第4章 駅利用者・事業者アンケート、懇談会の内容について 観光客や地元商工会関係者の意見や要望や、課題を整理する上で貴重な資料だとは思いますが、10年以上前の週末の単日で実施、実施期間が短すぎる、限られた出席者・回数のお話し合いに基づいている、観光客や事業者の視点に偏重している、といった特徴がある。 課題を整理する上で、地域住民からの視点も新たに網羅すべきと考える。</p> <p>p. 36 (1) 施設整備時期等の検討 について 可能な限り早くという趣旨も一応理解はできるが、意見の集約や地元との調整が不十分。今回は公共の施設を作ろうとするものであり、拙速で不十分な検討に基づいて整備を進めようとするれば、福祉分野に関して前市長の犯したのと同じ過ちを、今度は観光・街づくりの分野で繰り返すことになるのではないかと危惧する。</p> <p>p. 36 (2) 民間活力を活用した事業計画の検討 について 計画の策定や施設の建設に入る前に、駅付近や五日市周辺地区の既存の事業者（飲食店、コインシャワーも含むレンタルサイクル屋さん、バス会社、鉄道会社等、移住や子育てを担う市内の行政施設や関連施設）からも十分に意見を聞き取り、新しい施設ができた場合の住み分けの方法、様々な形態の観光需要をどうさばくか、想定する人の流れや交通手段の確保といった点について、十分に意見の集約と調整が必要だろう。</p> <p>p. 36-37 (3) 地域が主体となる市有地の有効活用方策の検討 について 住民視点での検討が不足している。 1 五日市まちづくり協議会 2 駅前から五日市の魅力を発信する会 の2つの市民団体からの意見があるものの、その内容はブレンストーミング段階で多種多様であり、上位計画に照らしてどの要素を重視するのかについてきちんとした議論はなされていないように見える。一部の関係者の意向を汲むのではなく、市の広報誌などを通じて広く問題を周知して議会やタウンミーティングなどで十分議論し、それに基づいて計画素案を作るなど、丁寧な手順を踏む必要があると考える。</p> <p>p. 37 (4) 市有地における秋川流域の地域資源の連携策の検討 について 駅前の施設に一時滞留場所として観光客を集めるとして、車の混雑や観光の足の不足が懸念される。 観光客の目的地にもよるが、五日市の街歩きを楽しむことを想定した場合、五日市の市街地や商店街へは少なくとも数百mの距離がある。 駅前を起点として、西にある市街地へ足を向けやすくなるような環境整備もセットで考える必要がある。 徒歩で向かうならば、歩いていて楽しいような、気軽に立ち寄れる小型店舗・屋台・休憩スペースなどのある歩道づくりが必要。 バス利用を考えれば、ヨルイチの時に運行されるような駅と市街中心を往復する小型のシャトルバスのようなものも必要だろうし、 自転車利用を考えれば、周辺の事業者とも協力のうえレンタルサイクル利用を促進したり、駐輪スペースの確保も必要かもしれない。 現状では、歩行者、自転車利用、鉄道・バスの利用、車の利用、全ての使い勝手が微妙で中途半端であり、駅前に観光客を集めるような施設を作ったところで、さらに混乱をきたすだけのように思える。</p>	<p>【全体に関して】①②について 武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。 市としては、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」により、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）を公表し、広く市民等から意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見に対する市の考え方を公表する、パブリックコメントを実施しております。</p> <p>【個別の検討項目への意見】 P. 25につきまして、上位計画を踏まえた市有地の活用をしていきます。 P. 26につきまして、日の出町及び檜原村と市有地の取得から現在に至るまでの経過を確認し、市有地の活用による秋川流域の活性化に向け、本計画の取りまとめに際し、日の出町、檜原村のご意見を確認しております。市有地は、秋川流域の3市町村の活性化に資する施設の整備を目的に取得されており、市有地の活用を通じて、秋川流域及び五日市地域の活性化に取り組んでいきます。 また、日の出町及び檜原村には、市有地活用に関する情報を逐次提供するとともに、両町村と、施設の管理運営等について調整していきます。 P. 36、P. 37及びP36（1）（2）につきまして、武蔵五日市駅前市有地活用計画（案）は、市有地の地域特性に大きな変化がないことから、資料1（武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書）と資料2（武蔵五日市駅前市有地活用計画への提言）を基本に、人口推移、入込観光客数、鉄道乗車人数などの「状況の変化」、市有地活用に関する「上位計画の位置付け」や「関係自治体の意見」を確認するとともに、少子高齢化・人口減少、コロナ禍による生活様式の変化、旅行傾向、DXやSDGsの推進などの「社会環境の変化」を踏まえ、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考に、さらに、民間活力の活用、地域が主体となる取組など、「報告書における「今後の課題」への対応」を整理して、取りまとめております。 また、市有地は、秋川流域で地域活性化の取組等を行っている様々な団体、事業者・観光事業者などと連携したイベント等を通じて、秋川流域の活性化につなげる場所にしていきます。 施設の詳細な内容や管理運営につきましては、今後、検討していきます。 P36-37（3）につきまして、市としましては、本計画（案）の取りまとめに当たり、五日市まちづくり協議会及び駅前から五日市の魅力を発信する会による「市民団体からの意見」を参考にしております。また、 【全体に関して】①②でお答えしましたとおり、パブリックコメントを実施しております。 P. 37（4）につきまして、市有地の活用に当たり、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの施設情報を発信するとともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報を発信する場所にしていきます。また、西東京バス社有地と市有地との土地交換につきましては、市有地活用の方策の一つとして、西東京バス株式会社様と市との間で協議・調整を重ねてまいりましたが、実現には至らず、本計画（案）の作成に至っております。 P41につきまして、市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。 施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。また、駐車場機能につきましては、周辺地域に及ぼす影響を鑑みながら、必要に応じて、別途検討していきます。</p>

提出されたすべての意見とそれに対する市の考え方

	意見	市の考え方
	<p>駅西側の私有地（バス駐車場）と東側の市有地を等価交換して西側に施設を作るという2014年当時の都立大学の提言はどうなったのか？人の流れに関しては的を得た指摘と提言だと思う。</p> <p>p. 41 導入機能・施設イメージ について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信機能について <p>観光案内所や、駅前でガイドツアー・体験型イベントを実施している事業者はすでにあり、これらとどう住み分け（または統合）するのか、という議論が不足している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政サービス機能について <p>五日市出張所や地元の保育所、ファミリーサポート事業など、既存で関連する事業は多くある。駅前の新しい施設にこれらの機能の一部を移転する必要があるのか（もしくは既存の事業へのサポートを厚くし、使い勝手を良くすることで解決できるのか）については、当事者から十分に意見を聞き取ることが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩機能、緑地機能について <p>コインシャワーの導入についても、駅前ですでに実施している事業者があつて、行政として新たに設置することの意味が問われる。</p> <p>一方、観光客視点だけではなく、住民にとっても利用しやすい付加価値も必要だと考える。公共交通機関の待ち時間が長い、また市街地に広い公園や緑地を欠く五日市にとって、貴重な公園・休憩・待合スペースとしての潜在的な価値があり、これらの視点も確保しておいた方がよいように思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場機能 <p>現在日常的に駐車場を使っている利用者の立場は一定程度考慮されているようだが、観光客がより多く集まるようになった場合に、必要とされる駐車場および駐輪場の機能が確保されるのか、という点については非常に疑問が残る。集まる観光客に対しては、公共交通機関や自転車の利用を促進するなど、交通事業者と緊密な連携が必要なのではないかと考えられる。</p>	
172	<p>何を作るか？建てるか？も大切ですが、住んでいる人達の意識が変わっていくことが1番大切だと思います。</p> <p>地域の人が地域の魅力（モノ、コト、ヒト）を再発見し、好きになる。大切にしたいと思えることが最大の町づくり、移住促進になると思う。地域の人が自然と繋がる仕掛けや対話の場、学べる場、憩い</p> <p>ex) 多目的広場、子供も安心して遊べる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全面芝生、中央には大きなシンボルツリーで木陰を作る ・遊戯テーブルを点在（マーじゃん、将棋、囲碁、オセロetc）中国の公園や道で見かける感じの見知らぬ人と対戦できる ・カフェ、フード、アート、地域を学べる空間、循環図書館 <p>現在バスの車庫スペースがいいなー そうじゃなきゃあまりやる意味がないと思います。</p>	<p>武蔵五日市駅前市有地には、情報発信機能、集会・交流機能、憩い・滞留機能、駐車場機能を導入することとしております。情報発信機能では、観光情報等を発信できる施設、移住・定住促進など、行政のまちづくりに関する情報や行政サービスを提供できる施設を、集会・交流機能では、小規模なイベントやセミナーなどが開催できる多目的ホール、様々な用途に活用できるイベント広場、市内の事業者やキッチンカーが出店できるスペースを、憩い・滞留機能では、アウトドア等で本市を訪れた人や公共交通の乗り換えなどの人が休憩できる施設、帰宅困難者等の収容施設、生物多様性に配慮した緑地帯をそれぞれイメージしています。</p> <p>施設の詳細な内容につきましては、今後、施設の設計において検討していきます。</p> <p>また、市有地は、秋川流域の観光の玄関口として、秋川流域の魅力を伝え、市有地に訪れた人々が流域における回遊性、滞在性を更に高められるよう、観光スポットなどの情報とともに、地域資源や特産品、アクティビティ、移住などに関する情報も発信する場所や、各種のイベント等を通じて、観光客やアウトドア愛好家、地域住民、学生などの多様な人々が集い、学び、憩い、思いを共有することができる場所にしていきます。</p> <p>西東京バス社有地と市有地との土地交換につきましては、市有地活用の方策の一つとして、西東京バス株式会社様と市との間で協議・調整を重ねてまいりましたが、実現には至らず、本計画（案）の作成に至っております。</p>